

アダム・スミス『国富論』初版の 書誌的研究

川 又 祐

政経研究 第六十卷第三・四号（二〇二三年十二月）

- 1 はじめに
- 2 『国富論』初版の書誌
 - (1) 『国富論』初版の書誌
 - (2) 『国富論』初版復刻版
 - (3) 『国富論』初版の構成
- 3 『国富論』初版の巻数表記と折記号
- 4 『国富論』初版の印刷機（者）番号
- 5 『国富論』初版の校合
 - (1) 『国富論』初版ロンドン版とエディンバラ版のハーフタイトル
 - (2) 『国富論』初版の校合
- 6 おわりに

1 はじめに

本年2023年は、アダム・スミス（Adam Smith. 1723-1790）の生誕300年の記念の年である。日本大学図書館法学部分館はアダム・スミスの旧蔵書を所蔵している⁽¹⁾。また経済学部分館が『国富論（*An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*）』（初版、1776）、およびスミスの自筆書簡を、さらに松戸歯学部分館がスミスの旧蔵書⁽²⁾を所蔵していることも知られている。これらの研究環境を活かしながら、ス

一
二
一
（
二
九
八）

ミス生誕300年という機会をとらえて、筆者はスミスを題材とする研究に着手することとした。

過去に筆者は、ゼッケンドルフ (Veit Ludwig von Seckendorff. 1626-1692) が著した『ドイツ君主国 (*Teutscher Fürsten-Stat*)』(初版、1656) の出版の経緯を調査したことがある。それにより、『ドイツ君主国』の第3版 (1665) には、3つの異なる表題頁があることを発見した (川又、2016)。またゾネンフェルス (Joseph von Sonnenfels. 1732/33-1817) の『ポリツァイ、商業および財政の基本原則 (*Grundsätze der Polizey, Handlung und Finanz*)』に関して、その第1巻第3版は、異なる出版者によって刊行されたために2種類存在していること、第1巻第5版も同一の出版者から表題頁が異なるいくつかの第5版が刊行されていることを明らかにした (川又、2017、2019)。これらの事実は、出版が何度も繰り返されていることからそれだけ、ゼッケンドルフやゾネンフェルスの著作に対する需要が大きかったことの証左となっている。

さらに筆者は、ホッブズ (Thomas Hobbes. 1588-1679) の『リヴァイアサン (*Leviathan*)』初版ヘッド版 (1651) について校合調査を行った経験がある。これは、日本大学図書館法学部分館が所蔵している『リヴァイアサン』初版ヘッド版と他機関が所蔵しているそれとを目視によって比較する調査であった。この調査の結果、『リヴァイアサン』初版ヘッド版には少なくとも4種類の異刷 (state) が存在することを突き止めた (川又、2014)⁽³⁾。

筆者のこうした研究成果を活かして、スミスの『国富論』初版に校合 (collation)⁽⁴⁾を試みることを本稿の目的である。

2 『国富論』初版の書誌

(1) 『国富論』初版の書誌

日本大学図書館経済学部分館が所蔵している『国富論』初版 (1776、英語版、2巻本) は、

① 出版地、出版者が、“L O N D O N : P R I N T E D F O R W . S T R A H A N ; A N D T . C A D E L L , I N T H E S T R A N D .”と記載されているもの。資料番号：0198262, 0198263

①には、Additions and Corrections to the First and Second Editions of Dr. Adam Smith’s Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations が合冊されている。

② 出版地、出版者が、同様に“L O N D O N : P R I N T E D F O R W . S T R A H A N ; A N D T . C A D E L L , I N T H E S T R A N D .”と記載されているもの。資料番号：0198653, 0198654

③ 出版地、出版者が、“L O N D O N : P R I N T E D F O R W . S T R A H A N ; A N D T . C A D E L L , I N T H E S T R A N D ; A N D W . C H R E E C H , A T E D I N B U R G H .”と記載されているもの。資料番号：0198651, 0198652

の3点である。本稿では、①②のストラーンとキャデルによって出版された『国富論』初版をロンドン版と呼び、クリーチが加わった③の『国富論』初版をエディンバラ版と呼ぶことにする。

①、②の『国富論』初版ロンドン版の折丁は、以下の通りである(経済学部分館作成)。

Vol. I: A⁴ a² B-L⁴ M⁴(±M3) N-P⁴ Q⁴(±Q1) R-T⁴ U⁴(±U3) X-Z⁴ Aa-Yy⁴ Zz⁴(±Zz3) 3A⁴(±3A4) 3B-3S⁴ 3T⁴(-3T4)

Vol. II: [A]² B-C⁴ D⁴(±D1) E-Z⁴ Aa-Zz⁴ Aaa-Yyy⁴ Zzz⁴(±Zzz4) 4A-4E⁴ 4F²

PHYS: 2 v. ([12], 510; [4], 587, [1] p.) ; 30 cm. (4to)

NOTE: Half-title on [A]1^r of v. 2: An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations. Vol. II

NOTE: Advertisement on A1^v of v. 1 and 4F2^v of v. 2

NOTE: Errata on [A]2^v of v. 2

※①②はともに第2巻にハーフタイトル (half title、略書名) がある。

③の『国富論』初版エディンバラ版の折丁は、以下の通りである
(経済学部分館作成)。

Vol. I: $\pi^1 A^4 a^2 B-L^4 M^4(\pm M3) N-P^4 Q^4(\pm Q1) R-Z^4 Aa-Zz^4 3A^4(\pm 3A4)$
 $3B-3N^4 3O4(\pm 3O4) 3P-3S^4 3T^4(-3T4)$

Vol. II: $[A]^2 B-C^4 D^4(\pm D1) E-Z^4 Aa-Zz^4 Aaa-Yyy^4 Zzz^4(\pm Zzz4) 4A-$
 $4E^4 4F^2$

PHYS: 2 v. ([14], 510; [4], 587, [1] p.) ; 30 cm. (4to)

NOTE: Half-title on $\pi 1^r$ of v. 1 and $[A] 1^r$ of v. 2: An inquiry into
the nature and causes of the wealth of nations. Vol. I[-II]

NOTE: Advertisement on $A1^v$ of v. 1 and $4F2^v$ of v. 2

NOTE: Errata on $[A] 2^v$ of v. 2

※この③は、第1巻、第2巻ともハーフタイトルを持っている。

ロンドン版第2巻のハーフタイトルとエディンバラ版第2巻のハーフタイトルは7行からなり、

AN | INQUIRY | INTO THE | Nature and Causes | OF THE | WEALTH OF
NATIONS. | VOL. II.

となっている⁽⁵⁾。INQUIRY、WEALTH、NATIONS がすべて大文字、
AN、INTO、THE、OF がすべて大文字であるがポイントが小さく、Nature
と Causes は大文字と小文字が混ざっており、and のみがすべて小文字
となっている。

『国富論』初版ロンドン版とエディンバラ版の第2巻ハーフタイトル
は、大文字 Q の活字と「INTO」の位置が微妙に異なっている。それゆえ
に、エディンバラ版第2巻のハーフタイトルはロンドン版第2巻の
ハーフタイトルを流用したものではなく、別個に用意・印刷されたエ
ディンバラ版第2巻用のハーフタイトルが使用されていると思われる。

グラスゴー版『国富論』(1976)の出版に関わったトッド (W.B. Todd)
が示す折丁は、次のものである (トッド、p.3)⁽⁶⁾。ただし、トッドは自
分が使用した原典は示していない。

Vol. i: A⁴ a² B-L⁴ M⁴(±M3) N-P⁴ Q⁴(±Q1) R-T⁴ U⁴(±U3) X-2Y⁴ 2Z⁴(±2Z3) 3A⁴(±3A4) 3B-3N⁴ 3O4(±3O4) 3P-3T⁴.

Pages *i* title, *ii* advertisement for *Theory of Moral Sentiments*, 4th edition, *iii-xi* contents, *xii blank*. 1 2-510 text, 511-512 blank.

Vol. ii: A² B-C⁴ D⁴(±D1) E-3Y⁴ 3Z⁴(±3Z4) 4A⁴ 4B⁴(-4B1,2+4B1,2) 4C4(±4C2,3) 4D-4E⁴ 4F2.

Pages *i* half-title, *iii* title, *iv* errata, 1 2-587 text, 588 advertisements.

これらの折丁における相違が何に由来するのか、は今後の調査を待たなければならない。

(2) 『国富論』初版復刻版

『国富論』初版原典を使用しての校合、すなわち本文の比較を行い、その相違がないかどうか確認する作業は、初版原典を傷める可能性が極めて高いことから現実的ではない。初版原典を利用する作業は必要最小限にとどめる必要がある。そこで今回の調査はもっぱら次の復刻版を使用して作業を進めることにする。

④ Augustus M. Kelley Publishers, New York; Facsimile of 1776 edition. 2 vols. 1966. この復刻版は Kelley 版と略する。Kelley 版の頁構成は次のようになる。

Vol.1: pp. [12], [1]-50, 52[i.e. 51] 52-325, [326], (327)-457, [458], (459)-510, [2].

pp. i: title, ii: advt for *Theory of Moral Sentiments*, iii-vii: contents of the first volume, viii-xi: contents of the second volume, xii: blank. [511]: advts. [512]: blank.

Vol. II: pp. [4], [1]-289, [290], (291)-587.

pp. i: half-title, ii: blank, iii: title, iv: errata.

Kelley 版は、原典（底本）として何を利用しているのかは分からない。Kelley 版の特徴は、第 1 巻の頁番号 52 に誤植があること（第 2 巻の頁番号 289 には誤植はない）、そして第 2 巻の 553 頁と 563 頁を除いて、両巻に巻数表記と折記号そして印刷機（者）番号が印刷されていないことである。さらに他の原典や復刻版では第 2 巻 [588] 頁にある広告頁が第 1 巻の [511] 頁に印刷されていることである⁽⁷⁾。

⑤雄松堂 (Yushodo), Tokyo; Facsimile of 1776 edition. 2 vols. 1976. 解説付き。この復刻版は Yushodo 版と略する。Yushodo 版の頁構成は次のようになる。

Vol.1: pp. [12], [1]-325, [326], (327)-457, [458], (459)-510, [2].

pp. i(A1^r): title, ii(A1^v): advt for Theory of Moral Sentiments, iii-vii(A2^r-A4^r): contents of the first volume, viii-xi(A4^v-a2^r): contents of the second volume, xii(a2^v): blank. [511-512]: blank.

Vol. II: pp. [4], [1]-287, 289[i.e. 288]-289, [290], (291)-587, [1].

pp. i([A]1^r): half-title, ii([A]1^v): blank, iii([A]2^r): title, iv([A]2^v): errata. [588]: advts.

Yushodo 版の原典は、確定できないがクレス・ライブラリー所蔵本と思われる⁽⁸⁾。

⑥ Idion Verlag, München; Facsimile of 1776 edition. 2 vols. 1976. この版は Idion 版と略する。Idion 版の頁構成は次のようになる。

Vol.1: pp. [12], [1]-325, [326], (327)-457, [458], (459)-510, [2].

pp. i(A1^r): title, ii(A1^v): advt for Theory of Moral Sentiments, iii-vii(A2^r-A4^r): contents of the first volume, viii-xi(A4^v-a2^v): contents of the second volume, xii(a2^v): blank. [511-512]: blank.

Vol. II: pp. [6], [1]-287, 289[i.e. 288]-289, [290], (291)-587, [1].

pp. i([A]1^r): title, ii([A]1^v): errata. iii-vi([A]2^r-[A]3^v): contents of the second volume. [588]: advts.

Idion 版の原典はハイデルベルク大学図書館所蔵本である⁽⁹⁾。Idion 版の特徴は、第2巻にあらためて目次がついていることである。

⑦ Verlag Wirtschaft und Finanzen, Düsseldorf; Facsimile of 1776 edition. 2 vols. 1986. Klassiker der Nationalökonomie, Vademecum 付き。この版は Klassiker 版と略する。Klassiker 版の頁構成は次のようになる。

Vol.1: pp. [12], [1]-325, [326], (327)-457, [458], (459)-510, [2].

pp. i (A1^r): title, ii (A1^v): advt for Theory of Moral Sentiments, iii-vii (A2^r-A4^r): contents of the first volume, viii-xi (A4^v-a2^r): contents of the second volume, xii (a2^v): blank. [511-512]: blank.

Vol. II: pp. [2], [1]-287, 289 [i.e. 288]-289, [290], (291)-587, [1].

pp. i ([A]1^r): title, ii ([A]1^v): errata. [588]: advts.

Klassiker 版の原典は不明である。第2巻巻末の見返しには「原典としては、Verlagsgruppe Handelsblatt が所有している、1776年刊行初版本が利用されている」とされている⁽¹⁰⁾。

Kelley 版を除く3つの復刻版は、第2巻に頁番号289に誤植がある。

(3) 『国富論』初版の構成

『国富論』初版は四つ折り版 (4to, quarto) である。これは、印刷用紙1枚を真ん中で直角に2回折ることで1つの折丁 (gathering) が構成される。図1-1、1-2は『国富論』初版第1巻Bの折丁を示している。四つ折り版の場合、印刷用紙の表版 (outer forme) あるいは表面 (front of paper) と、裏版 (inner forme) あるいは裏面 (back of paper) とにそれぞれ4頁分が印刷される。表版半分には1、8頁と4、5頁が、裏版半分には2、3頁と6、7頁がそれぞれ印刷される (図1-1)。これを2回折ることで、小口が4枚、8頁ができあがる (図1-2)。四つ折り版の場合には、1つの折丁は小口が4枚 (8頁) で構成されることになる。

小口1枚目はB1レクト（recto. 表版の1頁、B1^rと表記）とB1ヴェルソ（verso. 裏版の2頁、B1^vと表記）、小口2枚目はB2レクト（裏版の3頁）とB2ヴェルソ（表版の4頁）、小口3枚目はB3レクト（表版の5頁）とB3ヴェルソ（裏版の6頁）、小口4枚目はB4レクト（裏版の7頁）とB4ヴェルソ（表版の8頁）、となる。こうして『国富論』初版第1巻は、小口が4枚、8頁で構成される折丁がAから3T（折丁aのみが小口2枚、4頁）まで、第2巻は[A]から4F（折丁[A]と4Fがそれぞれ小口2枚、4頁）までで作られている。

図1-1 『国富論』初版第1巻Bの折丁（折りたたまれる前）

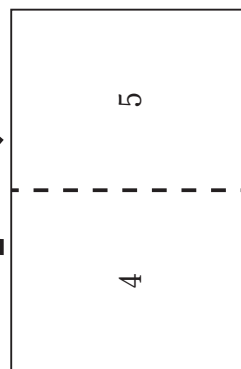
表版（outer forme）〔表面（front of paper）〕

B4 ^v 8	B3 ^r 5
B1 ^r 1	B2 ^v 4

裏版（inner forme）〔裏面（back of paper）〕

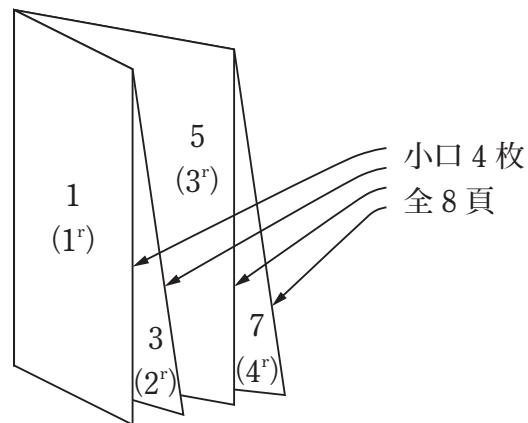
B3 ^v (5) 6	B4 ^r 7 (8)
B2 ^r (4) 3	B1 ^v 2 (1)

谷折り 二つ折り



谷折り 四つ折り

図 1 - 2 折りたたまれた後の折丁 B の状態



次の図 2 - 1、2 - 2 は、折りたたまれる前の状態に戻して配置した初版第 1 巻折丁 B の表版、裏版の画像である。『国富論』の省略された書名が頭注のように、偶数頁上部に“THE NATURE AND CAUSES OF”、奇数頁上部に、“THE WEALTH OF NATIONS.” が掲げられている（図 2 - 3）。頁番号は、奇数頁の場合には右上に、偶数頁の場合には左上に配置されている。さらに原則として偶数頁番号の下には、編、奇数頁番号の下には、章が側注のように付けられている。頁の下部には本文の下に、巻数表記、折記号（signature）、つなぎ語（catchword、これは、頁の終わりに印刷されるもので、次頁の最初の語が示される）、印刷機（者）番号（press figure）、注記が表記される。折丁 B にこれらの情報がどのように記載されているかをまとめたのが表 1 『国富論』初版第 1 巻折丁 B の各小口下部に印刷されている情報である（折丁 B には注記はない）。

図 2 - 1 『国富論』 初版第 1 巻折丁 B 葉の表版

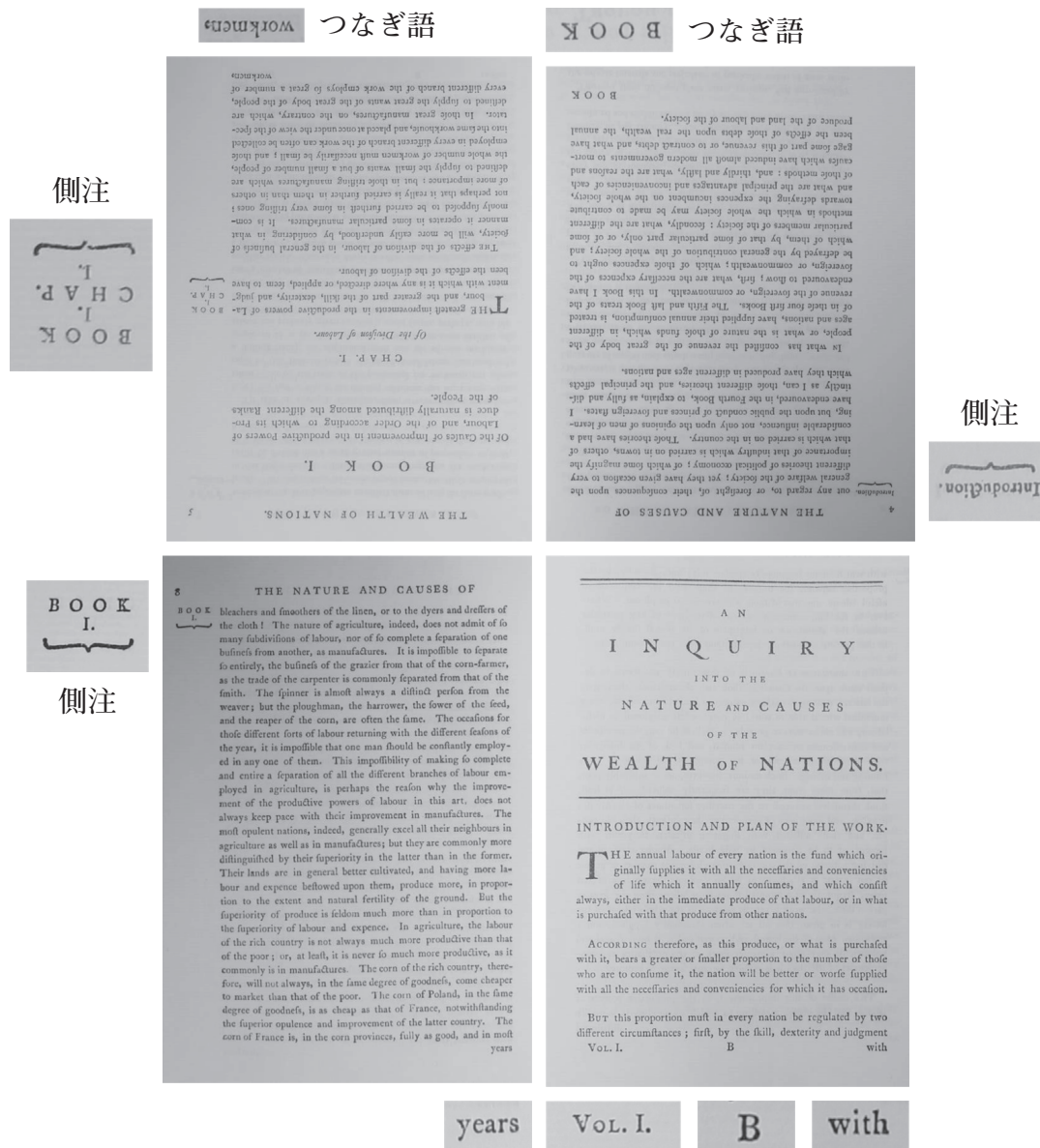


図 2-2 『国富論』 初版折丁 B 葉の裏版

つなぎ語	折記号	つなぎ語	印刷機（者）	番号
<p>THE WEALTH OF NATIONS.</p> <p>Introduction.</p> <p>Introduction.</p>	<p>THE WEALTH OF NATIONS.</p> <p>Introduction.</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p>	<p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p>	<p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p> <p>THE NATURE AND CAUSES OF</p>	<p>bleachers</p>

図 2-3 頭注の書名

THE NATURE AND CAUSES OF	偶数頁上
THE WEALTH OF NATIONS.	奇数頁上

表 1 『国富論』初版第 1 巻折丁 B の各小口下部に印刷されている情報

頁 (折記号)	巻数表記	折記号	印刷機 (者) 番号	つなぎ語	注記
[1] (B1 ^r)	Vol. I	B		with	
2 (B1 ^v)				distributed	
3 (B2 ^r)		B 2		[with-] out	
4 (B2 ^v)				B o o k	
5 (B3 ^r)				workmen,	
6 (B3 ^v)			8	twelve	
7 (B4 ^r)				bleachers	
8 (B4 ^v)				years	

各折丁には、本文の下にこれらの情報が盛り込まれている。

3 『国富論』初版の巻数表記と折記号

『国富論』初版の巻数表記は、原則として各折丁の小口 1 枚目のレクトに印刷されている。そして折記号は、原則として各折丁の小口 1 枚目および 2 枚目のレクトに印刷されている。しかし『国富論』初版の印刷に際して、頁の差し替えが行われた場合には、差し替えられた小口にも巻数表記と折記号が印刷される。それらを表したものが表 2 『国富論』初版の巻数表記と折記号である。ここで Kelley 版について注記しなければならない。Kelley 版は、上述したように第 2 巻の 553 頁と 563 頁を除いて、巻数表記と折記号そして印刷機 (者) 番号が印刷されていない。

表2 『国富論』初版の巻数表記と折記号

Vol.1

page	Vol.	signature
[i]		
[iii]		A 2
[ix]	Vol. I.	a
[1]	Vol. I.	B
3		B 2
9	Vol. I.	C
11		C 2
17	Vol. I.	D
19		D 2
25	Vol. I.	E
27		E 2
33	Vol. I.	F
35		F 2
41	Vol. I.	G
43		G 2
49	Vol. I.	H
51		H 2
57	Vol. I.	I
59		I 2
65	Vol. I.	K
67		K 2
73	Vol. I.	L
75		L 2
81	Vol. I.	M
83		M 2
85*	Vol. I.	M 3
89	Vol. I.	N
91		N 2
97	Vol. I.	O
99		O 2
105	Vol. I.	P
107		P 2
113*	Vol. I.	Q
115		Q 2
121	Vol. I.	R
123		R 2
129	Vol. I.	S
131		S 2
137	Vol. I.	T
139		T 2
145	Vol. I.	U
147		U 2
149*	Vol. I.	U 3
153	Vol. I.	X
155		X 2
161	Vol. I.	Y
163		Y 2
169	Vol. I.	Z

171		Z 2
177	Vol. I.	Aa
179		Aa 2
185	Vol. I.	Bb
187		Bb 2
193	Vol. I.	Cc
195		Cc 2
201	Vol. I.	Dd
203		Dd 2
209	Vol. I.	Ee
211		Ee 2
217	Vol. I.	Ff
219		Ff 2
225	Vol. I.	Gg
227		Gg 2
233	Vol. I.	Hh
235		Hh 2
241	Vol. I.	Ii
243		Ii 2
249	Vol. I.	Kk
251		Kk 2
257	Vol. I.	Ll
259		Ll 2
265	Vol. I.	Mm
267		Mm 2
273	Vol. I.	Nn
275		Nn 2
281	Vol. I.	Oo
283		Oo 2
289	Vol. I.	Pp
291		Pp 2
297	Vol. I.	Qq
299		Qq 2
305	Vol. I.	Rr
307		Rr 2
313	Vol. I.	Ss
315		Ss 2
321	Vol. I.	Tt
323		Tt 2
329	Vol. I.	Uu
331		Uu 2
337	Vol. I.	Xx
339		Xx 2
345	Vol. I.	Yy
347		Yy 2
353	Vol. I.	Zz
355		Zz 2
357*	Vol. I.	2Z 3
361	Vol. I.	3A
363		3A 2

367*	Vol. I.	3A 4
369	Vol. I.	3B
373		3B 2
377	Vol. I.	3C
379		3C 2
385	Vol. I.	3D
387		3D 2
393	Vol. I.	3E
395		3E 2
401	Vol. I.	3F
403		3F 2
409	Vol. I.	3G
411		3G 2
417	Vol. I.	3H
419		3H 2
425	Vol. I.	3I
427		3I 2
433	Vol. I.	3K
435		3K 2
441	Vol. I.	3L
443		3L 2
449	Vol. I.	3M
451		3M 2
457	Vol. I.	3N
459		3N 2
465	Vol. I.	3O
467		3O 2
471*	Vol. I.	3O 4
473	Vol. I.	3P
475		3P 2
481	Vol. I.	3Q
483		3Q 2
489	Vol. I.	3R
491		3R 2
497	Vol. I.	3S
499		3S 2
505	Vol. I.	3T
507		3T 2

Vol.2

page	Vol.	signature
[1]	Vol. II.	B
3		B 2
9	Vol. II.	C
11		C 2
17*	Vol. II.	D
19		D 2
25	Vol. II.	E
27		E 2
33	Vol. II.	F

35		F 2
41	Vol. II.	G
43		G 2
49	Vol. II.	H
51		H 2
57	Vol. II.	I
59		I 2
65	Vol. II.	K
67		K 2
73	Vol. II.	L
75		L 2
81	Vol. II.	M
83		M 2
89	Vol. II.	N
91		N 2
97	Vol. II.	O
99		O 2
105	Vol. II.	P
107		P 2
113	Vol. II.	Q
115		Q 2
121	Vol. II.	R
123		R 2
129	Vol. II.	S
131		S 2
137	Vol. II.	T
139		T 2
145	Vol. II.	U
147		U 2
153	Vol. II.	X
155		X 2
161	Vol. II.	Y
163		Y 2
169	Vol. II.	Z
171		Z 2
177	Vol. II.	Aa
179		Aa 2
185	Vol. II.	Bb
187		Bb 2
193	Vol. II.	Cc
195		Cc 2
201	Vol. II.	Dd
203		Dd 2
209	Vol. II.	Ee
211		Ee 2
217	Vol. II.	Ff
219		Ff 2
225	Vol. II.	Gg
227		Gg 2
233	Vol. II.	Hh
235		Hh 2

241	Vol. II.	Ii
243		Ii 2
249	Vol. II.	Kk
251		Kk 2
257	Vol. II.	Ll
259		Ll 2
265	Vol. II.	Mm
267		Mm 2
273	Vol. II.	Nn
275		Nn 2
281	Vol. II.	Oo
283		Oo 2
289	Vol. II.	Pp
291		Pp 2
297	Vol. II.	Qq
299		Qq 2
305	Vol. II.	Rr
307		Rr 2
313	Vol. II.	Ss
315		Ss 2
321	Vol. II.	Tt
323		Tt 2
329	Vol. II.	Uu
331		Uu 2
337	Vol. II.	Xx
339		Xx 2
345	Vol. II.	Yy
347		Yy 2
353	Vol. II.	Zz
355		Zz 2
361	Vol. II.	Aaa
363		Aaa 2
369	Vol. II.	Bbb
373		Bbb 2
377	Vol. II.	Ccc
379		Ccc 2
385	Vol. II.	Ddd
387		Ddd 2
393	Vol. II.	Eee
395		Eee 2
401	Vol. II.	Fff
403		Fff 2
409	Vol. II.	Ggg
411		Ggg 2
417	Vol. II.	Hhh
419		Hhh 2
425	Vol. II.	Iii
427		Iii 2
433	Vol. II.	Kkk
435		Kkk 2
441	Vol. II.	Lll

443		Lll 2
449	Vol. II.	Mmm
451		Mmm 2
457	Vol. II.	Nnn
459		Nnn 2
465	Vol. II.	Ooo
467		Ooo 2
473	Vol. II.	Ppp
475		Ppp 2
481	Vol. II.	Qqq
483		Qqq 2
489	Vol. II.	Rrr
491		Rrr 2
497	Vol. II.	Sss
499		Sss 2
505	Vol. II.	Ttt
507		Ttt 2
513	Vol. II.	Uuu
515		Uuu 2
521	Vol. II.	Xxx
523		Xxx 2
529	Vol. II.	Yyy
531		Yyy 2
537	Vol. II.	Zzz
539		Zzz
543*	Vol. II.	Zzz 4
545	Vol. II.	4A
547		4A 2
553*1	Vol. II.	4B
555*		4B 2
561	Vol. II.	4C
563*2	Vol. II.	4C 2
565*		4C 3
569	Vol. II.	4D
571		4D 2
577	Vol. II.	4E
579		4E 2
585	Vol. II.	4F

注* トッドが指摘する差し替え紙

注1 Kelley 版第2巻の553頁には、巻号表記 (Vol. II.) と折記号 (4B) がある。

2 Kelley 版第2巻の563頁には、巻号表記 (Vol. II.) のみがあり、折記号 (4C 2) はない。

表中の＊は、差し替えが行われたとトッドが指摘する用紙である。表中の灰色の部分は、印刷の際に差し替えが行われたために、上記の原則に従わない巻数表記と折記号が含まれている用紙である。図3は折丁Mのうち差し替えられた3枚目用紙に印刷されている巻数表記、折記号そしてつなぎ語である。

図3 差し替えられた『国富論』初版第1巻M3^r (p.85)の下部画像



『国富論』初版の折記号に関しては、第1巻では、AaからZzまでは大文字と小文字を使用していたのに、それ以降の折記号はAaaとはせずに3Aとされている(3Bから3Tまで同じ)。その一方、第2巻ではZzに続く折記号は、3AとはせずにAaaとされている(BbbからZzzまで同じ)。しかも第2巻のZzzに続く折記号は、Aaaaではなく4Aとされている。第1巻と第2巻では折記号の表記が統一されていないのが分かる。

4 『国富論』初版の印刷機(者)番号

『国富論』初版第1巻本文6頁、B3ヴェルソ(折丁B小口3枚目の裏版6頁)の本文の下には「8」の数字が見えている(図2-2参照)。これは印刷機(者)番号(press figure)と呼ばれるものである。印刷機(者)番号の役割、機能についていまだ解明されていないようである⁽¹¹⁾。『国富論』初版に用いられている印刷機(者)番号について、各復刻版(Yushodo版、Klassiker版、Idion版)を比較したものが表3である。これにはKelley版が含まれていない。なぜならKelley版には、上述のように折記号と印刷機(者)番号が印刷されていないからである。

表3 『国富論』初版の印刷機（者）番号とその位置

Vol.1

page	signature	outer (o) /inner (i) forme	press figure		
			Yushodo	Klassiker	Idion
i-xii	A1 ^r -a2 ^v		なし	なし	なし
6	B3 ^v	i	8	8	8
10	C1 ^v	i	4	4	4
21	D3 ^r	o	8	8	8
23	D4 ^r	i	5	5	5
32	E4 ^v	o	5	5	5
37	F3 ^r	o	5	5	5
38	F3 ^v	i	8	8	8
46	G3 ^v	i	5	5	5
50	H1 ^v	i	8	8	8
52	H2 ^v	o	4	4	4
60	I2 ^v	o	5	5	5
62	I3 ^v	i	7	7	7
66	K1 ^v	i	7	7	7
78	L3 ^v	i	7	7	7
84	M2 ^v	o	7	7	7
92	N2 ^v	o	4	4	4
95	N4 ^r	i	7	7	7
100	O2 ^v	o	4	4	4
102	O3 ^v	i	7	7	7
111	P4 ^r	i	4	4	4
112	P4 ^v	o	7	7	7
114	Q1 ^v	i	8	8	8
116	Q2 ^v	o	7	7	7
124	R2 ^v	o	4	4	4
127	R4 ^r	i	7	7	7
136	S4 ^v	o	7	7	7
140	T2 ^v	o	7	7	7
150	U3 ^v	i	4	4	4
154	X1 ^v	i	4	4	4
157	X3 ^r	o	7	7	7
162	Y1 ^v	i	4	4	4
165	Y3 ^r	o	7	7	7
172	Z2 ^v	o	4	4	4
182	Aa3 ^v	i	4	4	4
184	Aa4 ^v	o	7	7	7
186	Bb1 ^v	i	7	7	7
192	Bb4 ^v	o	4	4	4
194	Cc1 ^v	i	7	7	7
196	Cc2 ^v	o	4	4	4
202	Dd1 ^v	i	4	4	4
204	Dd2 ^v	o	7	7	7
215	Ee4r	i	4	4	4
216	Ee4 ^v	o	7	7	7
220	Ff2 ^v	o	4	4	4
222	Ff3 ^v	i	7	7	7

右寄せ
左寄せ

226	Gg1 ^v	i	4	4	4
229	Gg3 ^r	o	7	7	7
236	Hh2 ^v	o	4	4	4
238	Hh3 ^v	i	7	7	7
242	Ii1 ^v	i	4	4	4
248	Ii4 ^v	o	7	7	7
255	Kk4 ^r	i	4	4	4
256	Kk4 ^v	o	7	7	7
263	Ll4 ^r	i	4	4	4
264	Ll4 ^v	o	7	7	7
270	Mm3 ^v	i	4	4	4
272	Mm4 ^v	o	7	7	7
276	Nn2 ^v	o	4	4	4
278	Nn3 ^v	i	7	7	7
287	Oo4 ^r	i	4	4	4
288	Oo4 ^v	o	7	7	7
293	Pp3 ^r	o	4	4	4
294	Pp3 ^v	i	7	7	7
303	Qq4 ^r	i	4	4	4
304*	Qq4 ^v	o	7	7	7
311	Rr4 ^r	i	4	4	4
312*	Rr4 ^v	o	7	7	7
314	Ss1 ^v	i	7	7	7
328	Tt4 ^v	o	7	7	7
330*	Uu1 ^v	i	7	7	7
343	Xx4 ^r	i	7	7	7
350	Yy3 ^v	i	7	7	7
353-360	Zz1 ^r -Zz4 ^v		なし	なし	なし
362	3A1 ^v	i	4	4	4
365	3A3 ^r	o	7	7	7
373	3B3 ^r	o	7	7	7
375	3B4 ^r	i	4	4	4
380	3C2 ^v	o	4	4	4
390	3D3 ^v	i	4	4	4
394	3E1 ^v	i	4	4	4
397	3E3 ^r	o	7	7	7
406	3F3 ^v	i	7	7	7
408	3F4 ^v	o	4	4	4
410	3G1 ^v	i	7	7	7
416	3G4 ^v	o	4	4	4
420	3H2 ^v	o	7	7	7
423	3H4 ^r	i	4	4	4
429	3I3 ^r	o	7	7	7
430	3I3 ^v	i	4	4	4
437	3K3 ^r	o	7	7	7
438	3K3 ^v	i	4	4	4
442	3L1 ^v	i	7	7	7
444	3L2 ^v	o	4	4	4
454	3M3 ^v	i	7	7	7

右下

左上

456	3M4 ^v	o	4	4	4
462	3N3 ^v	i	7	7	7
468	3O2 ^v	o	7	7	7
472	3O4 ^v	o	6	6	6
474*	3P1 ^v	i	7	7	7
476	3P2 ^v	o	4	4	4
488	3Q4 ^v	o	7	7	7
492	3R2 ^v	o	4	4	4
495	3R4 ^r	i	7	7	7
504	3S4 ^v	o	7	7	7
509	3T3 ^r	o	7	7	7

Idion
上下逆転

Vol.2

page	signature	outer (o) / inner (i) forme	press figure		
			Yushodo	Klassiker	Idion
i-i ^v	[A]1 ^r -[A]2 ^v		なし	なし	なし
7	B4 ^r	i	4	4	4
10	C1 ^v	i	4	4	4
16	C4 ^v	o	7	7	7
18	D1 ^v	i	4	4	4
24	D4 ^v	o	7	7	7
28	E2 ^v	i	7	7	7
37	F3 ^r	o	8	8	8
41-48	G		なし	なし	なし
54	H3 ^v	i	8	8	8
62	I3 ^v	i	8	8	8
70	K3 ^v	i	8	8	8
78	L3 ^v	i	8	8	8
88*	M4 ^v	o	8	8	8
96	N4 ^v	o	8	8	8
102*	O3 ^v	i	8	8	8
110	P3 ^v	i	8	8	8
116	Q2 ^v	o	8	8	8
127	R4 ^v	o	8	8	8
130	S1 ^v	i	8	8	8
141	T3 ^r	o	8	8	8
157	X3 ^r	o	8	8	8
162	Y1 ^v	i	8	8	8
165	Y3 ^r	o	I	I	I
174	Z3 ^v	i	9	9	9
176	Z4 ^v	o	8	8	8
181	Aa3 ^r	o	4	4	4
182	Aa3 ^v	i	8	8	8
190	Bb3 ^v	i	8	8	8
197	Cc3 ^r	o	9	9	9
199	Cc4 ^r	i	4	4	4
202	Dd1 ^v	i	8	8	8
204	Dd2 ^v	o	4	4	4

212	Ee2 ^v	o	4	4	4
214	Ee3 ^v	i	8	8	8
222	Ff3 ^v	i	9	9	9
224	Ff4 ^v	o	8	8	8
231	Gg4 ^r	i	6	6	6
232	Gg4 ^v	o	9	9	9
236	Hh2 ^v	o	8	8	8
238	Hh3 ^v	i	4	4	4
244	Ii2 ^v	o	5	5	5
247	Ii4 ^r	i	4	4	4
254	Kk3 ^v	i	9	9	9
256	Kk4 ^v	o	5	5	5
261	Ll3 ^r	o	4	4	4
262	Ll3 ^v	i	9	9	9
269	Mm3 ^r	o	6	6	6
278	Nn3 ^v	i	8	8	8
280*	Nn4 ^v	o	6	6	9
286	Oo3 ^v	i	6	6	6
292	Pp2 ^v	o	6	6	6
295	Pp4 ^r	i	4	4	4
300	Qq2 ^v	o	6	6	6
310	Rr3 ^v	i	8	8	8
312	Rr4 ^v	o	4	4	4
314	Ss1 ^v	i	7	7	7
316	Ss2 ^v	o	8	8	8
326	Tt3 ^v	i	9	9	9
328	Tt4 ^v	o	8	8	8
334	Uu3 ^v	i	7	7	7
336	Uu4 ^v	o	8	8	8
343	Xx4 ^r	i	8	8	8
344	Xx4 ^v	o	9	9	9
348	Yy2 ^v	o	4	4	4
351	Yy4 ^r	i	8	なし	なし
356*	Zz2 ^v	o	6	6	6
358	Zz3 ^v	i	8	8	8
366	Aaa3 ^v	i	4	4	4
368	Aaa4 ^v	o	6	6	6
373	Bbb3 ^r	o	4	4	4
375	Bbb4 ^r	i	6	6	6
382	Ccc3 ^v	i	4	4	4
384	Ccc4 ^v	o	8	8	8
389	Ddd3 ^r	o	6	6	6
391	Ddd4 ^r	i	4	4	4
394	Eee1 ^v	i	9	9	9
400	Eee4 ^v	o	6	6	6
402	Fff1 ^v	i	9	9	9
408*	Fff4 ^v	o	6	6	6
412	Ggg2 ^v	o	7	7	7
414	Ggg3 ^v	i	4	4	4

上下逆転
の可能性

422 *	Hhh3 ^v	i	4	4	4
424	Hhh4 ^v	o	8	8	8
426	Iii1 ^v	i	4	4	4
432	Iii4 ^v	o	6	6	6
434	Kkk1 ^v	i	9	9	9
436	Kkk2 ^v	o	4	4	4
442	Lll1 ^v	i	6	6	6
445	Lll3 ^r	o	8	8	8
450 *	Mmm1 ^v	i	4	4	4
456 *	Mmm4 ^v	o	9	9	9
458	Nnn1 ^v	i	4	4	4
461	Nnn3 ^r	o	7	7	7
466	Ooo1 ^v	i	8	8	8
469	Ooo3 ^r	o	6	6	6
474	Ppp1 ^v	i	4	4	4
476	Ppp2 ^v	o	6	6	6
484	Qqq2 ^v	o	4	4	4
494	Rrr3 ^v	i	8	8	8
496	Rrr4 ^v	o	4	4	4
501	Sss3 ^r	o	4	4	4
502	Sss3 ^v	i	8	8	8
506	Ttt1 ^v	i	8	8	8
512	Ttt4 ^v	o	4	4	4
518	Uuu3 ^v	i	6	6	6
520	Uuu4 ^v	o	8	8	8
524	Xxx2 ^v	o	4	4	4
527 *	Xxx4 ^r	i	9	9	9
533	Yyy3 ^r	o	6	6	6
535	Yyy4 ^r	i	4	4	4
537-544	Zzz		なし	なし	なし
549	4A3 ^r	o	7	7	7
550	4A3 ^v	i	9	9	9
556	4B2 ^v	o	8	8	8
557	4B3 ^r	o	8	8	8
566	4C3 ^v	i	9	9	9
568	4C4 ^v	o	6	6	6
573 *	4D3 ^r	o	9	9	9
574	4D3 ^v	i	8	8	8
580 *	4E2 ^v	o	9	9	9
582	4E3 ^v	i	4	4	4
585-[588]	4F1 ^r -4F3 ^v		なし	なし	なし

* 印刷機（者）番号がつなぎ語の行（指示語の行）からずれている。

注 第2巻165頁は、印刷機（者）番号が唯一 I〔1〕が用いられている。351頁は印刷機（者）番号8が用いられているものと用いられていないものがある。556-557頁は表版に印刷機（者）番号が用いられている。

この表3は、Yushodo 版、Klassiker 版、Idion 版の頁、折記号、印刷機（者）番号が印刷されている印刷用紙の表版（o）、裏版（i）の別、印刷機（者）番号が並べられている⁽¹²⁾。

表3の印刷機（者）番号は、つなぎ語が示されている「指示語の行（direction-line）」⁽¹³⁾と同じ行（同じ高さ）にあるかどうか、場所が左寄り、中央、右寄りにあるかどうかで配置を区別している。例えば、図4のように、6頁のつなぎ語と印刷機（者）番号8は同じ指示語の行（同じ高さ）にあるが、8は右寄りに配置されているので、表3においては8を右に寄せている。10頁の場合（図5）は、つなぎ語と印刷機（者）番号4はほぼ同じ指示語の行にあるが、4は左寄りに配置されているので、表3においては4を左に寄せている。23頁の場合（図6）は、つなぎ語と印刷機（者）番号は同じ指示語の行にあるが、5は中央付近に配置されているので、表3においては5を中央に置いている。304頁の場合（図7）は、つなぎ語の行（指示語の行）よりも下の行の右寄りに印刷機（者）番号7が配置されている。この場合は、表3の列の高さを高くして、右下に7を置いている（表中の*の箇所がつなぎ語の行（指示語の行）からずれている印刷機（者）番号を表す）。

図4 『国富論』初版第1巻6頁の印刷機（者）番号

they could, when they exerted themselves, make among them about
8 twelve

図5 『国富論』初版第1巻10頁の印刷機（者）番号

from the field to his loom. When the two trades can be car-
4 ried

図6 『国富論』初版第1巻23頁の印刷機（者）番号

for a long time have no other market for the greater part of their
5 goods,

図7 『国富論』初版第1巻304頁の印刷機（者）番号

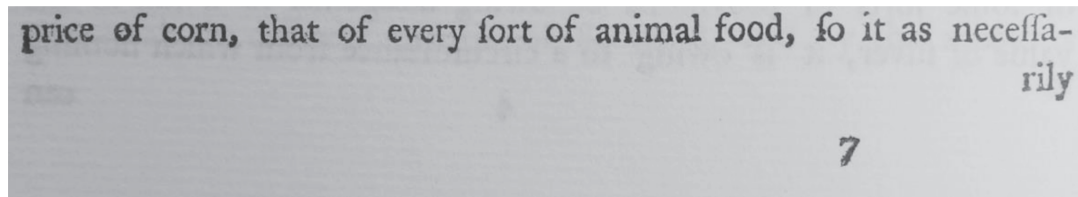


表3から、折丁の印刷機（者）番号に関して復刻版はほぼ一致している。第1巻の折丁A、a、Zzには印刷機（者）番号が付けられていない。折丁B、C、E、G、K、L、M、S、T、U、Z、そしてSs、Tt、Uu、Xx、Yy、さらに3C、3D、3N、3Q、3S、3Tの印刷機（者）番号に関して、印刷用紙の表版のみに印刷されているのがE、M、S、T、Z、Tt、3Q、3S、3Tであり、裏版のみに印刷されているのがB、C、G、K、L、U、Ss、Uu、Xx、Yy、3Nとなる（表4参照）。ここで注目すべきは折丁Zzである。差し替えが行われなければ折丁Zz3に印刷機（者）番号が付けられていたと思われるが、差し替えが行われた際、差し替えられた折丁2Z3（Zz3）には印刷機（者）番号が意識的に、あるいは無意識的につけられなかった。尚、折記号2Z3の数字2は手書きで、その筆跡も各版で異なっている。

表版のみに印刷機（者）番号が印刷されている折丁に関して、Eに5、Mに7、Sに7、Tに7、Zに4、Ttに7、3Qに7、3Sに7、3Tに7の番号が付けられている。裏版のみの場合、Bに8、Cに4、Gに5、Kに7、Lに7、Uに4、Ssに7、Uuに7、Xxに7、Yyに7、3Nに7の番号が付けられている。表版、裏版共に7が付けられていることが多いのが分かる。

表4 『国富論』初版第1巻における印刷機（者）番号の有無と折丁

印刷機（者）番号のない折丁	A、a、Zz
印刷機（者）番号が印刷用紙の表版のみにある折丁	E、M、S、T、Z、Tt、3Q、3S、3T
印刷機（者）番号が印刷用紙の裏版のみにある折丁	B、C、G、K、L、U、Ss、Uu、Xx、Yy、3N

次に、表3から第1巻の同じ折丁の表版と裏版あるいは裏版と表版に印刷機（者）番号が付けられているものを並べたものが表5である。そして印刷機（者）番号が付けられている折丁の場所順（1^v-2^v、1^v-3^r、1^v-4^v、2^v-3^v、2^v-4^r、2^v-4^v、2^v-4^r、3^r-3^v、3^r-4^r、3^v-4^v、4^r-4^v）に並べたものが表6、印刷機（者）番号の組み合わせで並べたものが表7、表版と裏版の組み合わせで並べたものが表8である。

表5 『国富論』初版第1巻印刷用紙の表版と裏版あるいは裏版と表版に印刷されている印刷機（者）番号

signature	outer (o) /inner (i) forme	press figure
D3 ^r -D4 ^r	o-i	8-5
F3 ^r -F3 ^v	o-i	5-8
H1 ^v -H2 ^v	i-o	8-4
I2 ^v -I3 ^v	o-i	5-7
N2 ^v -N4 ^r	o-i	4-7
O2 ^v -O3 ^v	o-i	4-7
P4 ^r -P4 ^v	i-o	4-7
Q1 ^v -Q2 ^v	i-o	8-7
R2 ^v -R4 ^r	o-i	4-7
X1 ^v -X3 ^r	i-o	4-7
Y1 ^v -Y3 ^r	i-o	4-7
Aa3 ^v -Aa4 ^v	i-o	4-7
Bb1 ^v -Bb4 ^v	i-o	7-4
Cc1 ^v -Cc2 ^v	i-o	7-4
Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o	8-5
Ee4 ^r -Ee4 ^v	i-o	4-7
Ff2 ^v -Ff3 ^v	o-i	4-7
Gg1 ^v -Gg3 ^r	i-o	4-7
Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i	4-7
Ii1 ^v -Ii4 ^v	i-o	4-7

Kk4 ^r -Kk4 ^v	i-o	4-7
Ll4 ^r -Ll4 ^v	i-o	4-7
Mm3 ^v -Mm4 ^v	i-o	4-7
Nn2 ^v -Nn3 ^v	o-i	4-7
Oo4 ^r -Oo4 ^v	i-o	4-7
Pp3 ^r -Pp3 ^v	o-i	4-7
Qq4 ^r -Qq4 ^v	i-o	4-7
Rr4 ^r -Rr4 ^v	i-o	4-7
3A1 ^v -3A3 ^r	i-o	4-7
3B3 ^r -3B4 ^r	o-i	7-4
3E1 ^v -3E3 ^r	i-o	4-7
3F3 ^v -3F4 ^v	i-o	7-4
3G1 ^v -3G4 ^v	i-o	7-4
3H2 ^v -3H4 ^r	o-i	7-4
3I3 ^r -3I3 ^v	o-i	7-4
3K3 ^r -3K3 ^v	o-i	7-4
3L1 ^v -3L2 ^v	i-o	7-4
3M3 ^v -3M4 ^v	i-o	7-4
3O2 ^v -3O4 ^v	o-o	7-6
3P1 ^v -3P2 ^v	i-o	7-4
3R2 ^v -3R4 ^r	o-i	4-7

表6 『国富論』初版第1巻印刷機（者）番号が印刷されている折丁の場所

signature		outer (o) /inner (i) forme	press figure	
1 ^v -2 ^v	H1 ^v -H2 ^v	i-o	8-4	6
	Q1 ^v -Q2 ^v	i-o	8-7	
	Cc1 ^v -Cc2 ^v	i-o	7-4	
	Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o	8-5	
	3L1 ^v -3L2 ^v	i-o	7-4	
	3P1 ^v -3P2 ^v	i-o	7-4	
1 ^v -3 ^r	X1 ^v -X3 ^r	i-o	4-7	5
	Y1 ^v -Y3 ^r	i-o	4-7	
	Gg1 ^v -Gg3 ^r	i-o	4-7	
	3A1 ^v -3A3 ^r	i-o	4-7	
1 ^v -4 ^v	Ii1 ^v -Ii4 ^v	i-o	4-7	3
	Bb1 ^v -Bb4 ^v	i-o	7-4	
	3G1 ^v -3G4 ^v	i-o	7-4	
2 ^v -3 ^v	I2 ^v -I3 ^v	o-i	5-7	5
	O2 ^v -O3 ^v	o-i	4-7	
	Ff2 ^v -Ff3 ^v	o-i	4-7	
	Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i	4-7	
	Nn2 ^v -Nn3 ^v	o-i	4-7	
2 ^v -4 ^r	N2 ^v -N4 ^r	o-i	4-7	5
	R2 ^v -R4 ^r	o-i	4-7	
	3H2 ^v -3H4 ^r	o-i	7-4	
	3O2 ^v -3O4 ^v	o-o	7-6	
3 ^r -3 ^v	3R2 ^r -3R4 ^r	o-i	4-7	4
	F3 ^r -F3 ^v	o-i	5-8	
	Pp3 ^r -Pp3 ^v	o-i	4-7	
	3I3 ^r -3I3 ^v	o-i	7-4	
3 ^r -4 ^r	3K3 ^r -3K3 ^v	o-i	7-4	2
	D3 ^r -D4 ^r	o-i	8-5	
	3B3 ^r -3B4 ^r	o-i	7-4	
3 ^v -4 ^v	Aa3 ^v -Aa4 ^v	i-o	4-7	4
	Mm3 ^v -Mm4 ^v	i-o	4-7	
	3F3 ^v -3F4 ^v	i-o	7-4	
	3M3 ^v -3M4 ^v	i-o	7-4	
4 ^r -4 ^v	P4 ^r -P4 ^v	i-o	4-7	7
	Ee4 ^r -Ee4 ^v	i-o	4-7	
	Kk4 ^r -Kk4 ^v	i-o	4-7	
	Ll4 ^r -Ll4 ^v	i-o	4-7	
	Oo4 ^r -Oo4 ^v	i-o	4-7	
	Qq4 ^r -Qq4 ^v	i-o	4-7	
				41

表7 『国富論』初版第1巻印刷機（者）番号の組み合わせ

press figure	signature	outer (o) /inner (i) forme	23	
4-7	N2 ^v -N4 ^r	o-i		
4-7	O2 ^v -O3 ^v	o-i		
4-7	P4 ^r -P4 ^v	i-o		
4-7	R2 ^v -R4 ^r	o-i		
4-7	X1 ^v -X3 ^r	i-o		
4-7	Y1 ^v -Y3 ^r	i-o		
4-7	Aa3 ^v -Aa4 ^v	i-o		
4-7	Ee4 ^r -Ee4 ^v	i-o		
4-7	Ff2 ^v -Ff3 ^v	o-i		
4-7	Gg1 ^v -Gg3 ^r	i-o		
4-7	Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i		
4-7	Ii1 ^v -Ii4 ^v	i-o		
4-7	Kk4 ^r -Kk4 ^v	i-o		
4-7	Ll4 ^r -Ll4 ^v	i-o		
4-7	Mm3 ^v -Mm4 ^v	i-o		
4-7	Nn2 ^v -Nn3 ^v	o-i		
4-7	Oo4 ^r -Oo4 ^v	i-o		
4-7	Pp3 ^r -Pp3 ^v	o-i		
4-7	Qq4 ^r -Qq4 ^v	i-o		
4-7	R ^r 4 ^r -R ^r 4 ^v	i-o		
4-7	3A1 ^v -3A3 ^r	i-o	11	
4-7	3E1 ^v -3E3 ^r	i-o		
4-7	3R2 ^v -3R4 ^r	o-i		
5-7	I2 ^v -I3 ^v	o-i		
5-8	F3 ^r -F3 ^v	o-i		
7-4	Bb1 ^v -Bb4 ^v	i-o		
7-4	Cc1 ^v -Cc2 ^v	i-o		
7-4	3B3 ^r -3B4 ^r	o-i		
7-4	3F3 ^v -3F4 ^v	i-o		
7-4	3G1 ^v -3G4 ^v	i-o		
7-4	3H2 ^v -3H4 ^r	o-i		
7-4	3I3 ^r -3I3 ^v	o-i		
7-4	3K3 ^r -3K3 ^v	o-i	1	
7-4	3L1 ^v -3L2 ^v	i-o		
7-4	3M3 ^v -3M4 ^v	i-o		
7-4	3P1 ^v -3P2 ^v	i-o		
7-6	3O2 ^v -3O4 ^v	o-o		
8-4	H1 ^v -H2 ^v	i-o	2	
8-5	D3 ^r -D4 ^r	o-i		
8-5	Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o		
8-7	Q1 ^v -Q2 ^v	i-o	1	
				41

表8 『国富論』初版第1巻印刷用紙表版、裏版の組み合わせ

outer (o) /inner (i) forme	press figure	signature				
i-o	4-7	P4 ^r -P4 ^v	25	i-o	7-4	3M3 ^v -3M4 ^v
i-o	4-7	X1 ^v -X3 ^r		i-o	7-4	3P1 ^v -3P2 ^v
i-o	4-7	Y1 ^v -Y3 ^r		i-o	8-4	H1 ^v -H2 ^v
i-o	4-7	Aa3 ^v -Aa4 ^v		i-o	8-5	Dd1 ^v -Dd2 ^v
i-o	4-7	Ee4 ^r -Ee4 ^v		i-o	8-7	Q1 ^v -Q2 ^v
i-o	4-7	Gg1 ^v -Gg3 ^r		o-i	4-7	N2 ^v -N4 ^r
i-o	4-7	Ii1 ^v -Ii4 ^v		o-i	4-7	O2 ^v -O3 ^v
i-o	4-7	Kk4 ^r -Kk4 ^v		o-i	4-7	R2 ^v -R4 ^r
i-o	4-7	Ll1 ^v -Ll4 ^v		o-i	4-7	Ff2 ^v -Ff3 ^v
i-o	4-7	Mm3 ^v -Mm4 ^v		o-i	4-7	Hh2 ^v -Hh3 ^v
i-o	4-7	Oo4 ^r -Oo4 ^v		o-i	4-7	Nn2 ^v -Nn3 ^v
i-o	4-7	Qq4 ^r -Qq4 ^v		o-i	4-7	Pp3 ^v -Pp3 ^v
i-o	4-7	Rr4 ^r -Rr4 ^v		o-i	4-7	3R2 ^v -3R4 ^r
i-o	4-7	3A1 ^v -3A3 ^r		o-i	5-7	I2 ^v -I3 ^v
i-o	4-7	3E1 ^v -3E3 ^r		o-i	5-8	F3 ^v -F3 ^v
i-o	4-7	3B1 ^v -3B4 ^v		o-i	7-4	3B3 ^v -3B4 ^r
i-o	7-4	Cc1 ^v -Cc2 ^v		o-i	7-4	3H2 ^v -3H4 ^r
i-o	7-4	3F3 ^v -3F4 ^v		o-i	7-4	3I3 ^v -3I3 ^v
i-o	7-4	3G1 ^v -3G4 ^v		o-i	7-4	3K3 ^v -3K3 ^v
i-o	7-4	3L1 ^v -3L2 ^v		o-i	8-5	D3 ^v -D4 ^r
				o-o	7-6	3O2 ^v -3O4 ^v
						1
						41

表5から、折丁順に付けられている印刷機（者）番号に規則性はなさそうである。表6から、折丁のレクトとヴェルソの組み合わせに規則性はなさそうである。表7から、『国富論』初版第1巻では印刷機（者）番号の組み合わせ41通りのうち、4-7が23通り、7-4が11通りで多数を占めている。表8から、裏版と表版の組み合わせが25通り、表版と裏版が15通り、表版と表版が1通りとなっている。『国富論』初版第1巻30の折丁は、表版に異なる印刷機（者）番号7と6が印刷されている（図8参照）。

図8 『国富論』初版第1巻折丁30 表版の印刷機（者）番号

	9
1	2
2 ^v	3 ^r
7	

図 8 に関して、『国富論』初版第 1 巻折丁 3O4 は差し替えられているので、印刷機（者）を特定するために番号 6 が印刷されたと思われる。その他に第 1 巻で差し替えられている折丁 M3、2Z3、3A4 には番号はなく、U3 には 4 が印刷されている。

『国富論』初版第 2 巻の印刷機（者）番号に関して同様に作成した表を見てみよう。表 9 から、第 2 巻の折丁 [A]、G、U、Zzz、4F には印刷機（者）番号が付けられていない。折丁 B、E、F、H、I、K、L、M、N、O、P、Q、R、S、T、X、そして Bb、Mm、Oo、Qq、さらに Qqq、4B の印刷機（者）番号に関して、印刷用紙の表版のみに印刷されているのが F、M、N、Q、R、T、X、Mm、Qq、4B であり、裏版のみに印刷されているのが B、E、H、I、K、L、O、P、S、Bb、Oo、Qqq となる（表 9 参照）。

表 9 『国富論』初版第 2 巻における印刷機（者）番号の有無と折丁

印刷機（者）番号のない折丁	[A]、G、U、Zzz、4F
印刷機（者）番号が印刷用紙の表版のみにある折丁	F、M、N、Q、R、T、X、Mm、Qq、4B
印刷機（者）番号が印刷用紙の裏版のみにある折丁	B、E、H、I、K、L、O、P、S、Bb、Oo、Qqq

表版のみに印刷機（者）番号が印刷されている折丁に関して、F に 8、M に 8、N に 8、Q に 8、R に 8、T に 8、X に 8、Mm に 6、Qq に 6、4B に 8 と 8 の番号が付けられている。裏版のみの場合、B に 4、E に 7、H に 8、I に 8、K に 8、L に 8、O に 8、P に 8、S に 8、Bb に 8、Oo に 6、Qqq に 4 の番号が付けられている。表版、裏版共に 8 が付けられていることが多いのが分かる。

表10 『国富論』初版第2巻印刷用紙の表版と裏版あるいは裏版と表版に印刷されている印刷機（者）番号

signature	outer (o) /inner (i) forme	press figure			
C1 ^v -C4 ^v	i-o	4-7	Aaa3 ^v -Aaa4 ^v	i-o	4-6
D1 ^v -D4 ^v	i-o	4-7	Bbb3 ^r -Bbb4 ^r	o-i	4-6
Y1 ^v -Y3 ^r	i-o	8-1	Ccc3 ^v -Ccc4 ^v	i-o	4-8
Z3 ^v -Z4 ^v	i-o	9-8	Ddd3 ^r -Ddd4 ^r	o-i	6-4
Aa3 ^r -Aa3 ^v	o-i	4-8	Eee1 ^v -Eee4 ^v	i-o	9-6
Cc3 ^r -Cc4 ^r	o-i	9-4	Fff1 ^v -Fff4 ^v	i-o	9-6
Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o	8-4	Ggg2 ^v -Ggg3 ^v	o-i	7-4
Ee2 ^v -Ee3 ^v	o-i	4-8	Hhh3 ^r -Hhh4 ^v	i-o	4-8
Ff3 ^v -Ff4 ^v	i-o	9-8	Iii1 ^v -Iii4 ^v	i-o	4-6
Gg4 ^r -Gg4 ^v	i-o	6-9	Kkk1 ^v -Kkk2 ^v	i-o	9-4
Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i	8-4	Lll1 ^v -Lll3 ^r	i-o	6-8
Ii2 ^v -Ii4 ^r	o-i	5-4	Mmm1 ^v -Mmm4 ^v	i-o	4-9
Kk3 ^v -Kk4 ^v	i-o	9-5	Nnn1 ^v -Nnn3 ^r	i-o	4-7
Ll3 ^r -Ll3 ^v	o-i	4-9	Ooo1 ^v -Ooo3 ^r	i-o	8-6
Nn3 ^v -Nn4 ^v	i-o	8-6	Ppp1 ^v -Ppp2 ^v	i-o	4-6
Pp2 ^v -Pp4 ^r	o-i	6-4	Rrr3 ^v -Rrr4 ^v	i-o	8-4
Rr3 ^v -Rr4 ^v	i-o	8-4	Sss3 ^r -Sss3 ^v	o-i	4-8
Ss1 ^v -Ss2 ^v	i-o	7-8	Ttt1 ^v -Ttt4 ^v	i-o	8-4
Tt3 ^v -Tt4 ^v	i-o	9-8	Uuu3 ^v -Uuu4 ^v	i-o	6-8
Uu3 ^v -Uu4 ^v	i-o	7-8	Xxx2 ^v -Xxx4 ^r	o-i	4-9
Xx4 ^r -Xx4 ^v	i-o	8-9	Yyy3 ^r -Yyy4 ^r	o-i	6-4
Yy2 ^v -Yy4 ^r	o-i	4-8	4A3 ^r -4A3 ^v	o-i	7-9
Zz2 ^v -Zz3 ^v	o-i	6-8	4B2 ^v -4B3 ^r	o-o	8-8
			4C3 ^v -4C4 ^v	i-o	9-6
			4D3 ^r -4D3 ^v	o-i	9-8
			4E2 ^v -4E3 ^v	o-i	9-4

表10から、折丁順に付けられている印刷機（者）番号に規則性はなさそうである。表11から、折丁のレクトとヴェルソの組み合わせに規則性はなさそうである。表12から、『国富論』初版第1巻では印刷機（者）番号の組み合わせ49通りのうち、4-8が6通り、8-4が5通りで相対的に多くなっているだけで、やはり規則性はなさそうである。表13から、裏版と表版の組み合わせが30通り、表版と裏版が18通り、表版と表版が1通りとなっている。4Bの折丁は、表版に同じ印刷機（者）番号8が印刷されている。

表11 『国富論』 初版第2巻印刷機（者）番号が印刷されている折丁の場所

signature		outer (o) /inner (i) forme	press figure							
1 ^v -2 ^v	Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o	8-4	4	3 ^v -4 ^v	Z3 ^v -Z4 ^v	i-o	9-8	14	
	Ss1 ^v -Ss2 ^v	i-o	7-8			Ff3 ^v -Ff4 ^v	i-o	9-8		
	Kkk1 ^v -Kkk2 ^v	i-o	9-4			Kk3 ^v -Kk4 ^v	i-o	9-5		
	Ppp1 ^v -Ppp2 ^v	i-o	4-6			Nn3 ^v -Nn4 ^v	i-o	8-6		
1 ^v -3 ^r	Lll1 ^v -Lll3 ^r	i-o	6-8	4		Tt3 ^v -Tt4 ^v	i-o	9-8		4
	Nnn1 ^v -Nnn3 ^r	i-o	4-7			Uu3 ^v -Uu4 ^v	i-o	7-8		
	Ooo1 ^v -Ooo3 ^r	i-o	8-6			Rr3 ^v -Rr4 ^v	i-o	8-4		
	Y1 ^v -Y3 ^r	i-o	8-1			Aaa3 ^v -Aaa4 ^v	i-o	4-6		
1 ^v -4 ^v	C1 ^v -C4 ^v	i-o	4-7	7		Ccc3 ^v -Ccc4 ^v	i-o	4-8		4
	D1 ^v -D4 ^v	i-o	4-7			Hhh3 ^v -Hhh4 ^v	i-o	4-8		
	Eee1 ^v -Eee4 ^v	i-o	9-6			Rrr3 ^v -Rrr4 ^v	i-o	8-4		
	Fff1 ^v -Fff4 ^v	i-o	9-6			Uuu3 ^v -Uuu4 ^v	i-o	6-8		
	Iii1 ^v -Iii4 ^v	i-o	4-6			4C3 ^v -4C4 ^v	i-o	9-6		
	Mmm1 ^v -Mmm4 ^v	i-o	4-9			Aa3 ^r -Aa3 ^v	o-i	4-8		
2 ^v -3 ^v	Ttt1 ^v -Ttt4 ^v	i-o	8-4	6	3 ^r -3 ^v	Ll3 ^r -Ll3 ^v	o-i	4-9	4	
	Ee2 ^v -Ee3 ^v	o-i	4-8			Sss3 ^r -Sss3 ^v	o-i	4-8		
	Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i	8-4			4A3 ^r -4A3 ^v	o-i	7-9		
	Zz2 ^v -Zz3 ^v	o-i	6-8			4D3 ^r -4D3 ^v	o-i	9-8		
	Ggg2 ^v -Ggg3 ^v	o-i	7-4		3 ^r -4 ^r	Cc3 ^r -Cc4 ^r	o-i	9-4	4	
	4E2 ^v -4E3 ^v	o-i	9-4			Bbb3 ^r -Bbb4 ^r	o-i	4-6		
2 ^v -4 ^r	4B2 ^v -4B3 ^r	o-o	8-8	4	Ddd3 ^r -Ddd4 ^r	o-i	6-4	2		
	Ii2 ^v -Ii4 ^r	o-i	5-4		Yyy3 ^r -Yyy4 ^r	o-i	6-4			
	Pp2 ^v -Pp4 ^r	o-i	6-4		4 ^r -4 ^v	Gg4 ^r -Gg4 ^v	i-o		6-9	
	Yy2 ^v -Yy4 ^r	o-i	4-8			Xx4 ^r -Xx4 ^v	i-o		8-9	
	Xxx2 ^v -Xxx4 ^r	o-i	4-9						49	

図9 『国富論』 第2巻折丁4B 表版の印刷機（者）番号

Ⅰ	Ⅱ
2 ^v	3 ^r
8	8

図9から、折丁4Bは、トッドに従えば差し替えは行われているので（トッド、p.3）、差し替えが行われたために表版に同じ8が556、557頁に連続して印刷されていると思われる。

最後に、上述の『国富論』初版第2巻の印刷機（者）番号に関する

表12 『国富論』初版第2巻印刷機（者）番号の組み合わせ

press figure	signature	outer (o) /inner (i) forme		7-4	Ggg2 ^v -Ggg3 ^v	o-i	1
				7-8	Ss1 ^v -Ss2 ^v	i-o	2
				7-8	Uu3 ^v -Uu4 ^v	i-o	
4-6	Aaa3 ^v -Aaa4 ^v	i-o	4	7-9	4A3 ^r -4A3 ^v	o-i	1
4-6	Bbb3 ^r -Bbb4 ^r	o-i		8-1	Y1 ^v -Y3 ^r	i-o	1
4-6	Iii1 ^v -Iii4 ^v	i-o		8-4	Dd1 ^v -Dd2 ^v	i-o	5
4-6	Ppp1 ^v -Ppp2 ^v	i-o		8-4	Hh2 ^v -Hh3 ^v	o-i	
4-7	C1 ^v -C4 ^v	i-o	8-4	Rr3 ^v -Rr4 ^v	i-o		
4-7	D1 ^v -D4 ^v	i-o	8-4	Rrr3 ^v -Rrr4 ^v	i-o		
4-7	Nnn1 ^v -Nnn3 ^r	i-o	8-4	Ttt1 ^v -Ttt4 ^v	i-o	2	
4-8	Aa3 ^r -Aa3 ^v	o-i	8-6	Nn3 ^v -Nn4 ^v	i-o		
4-8	Ee2 ^v -Ee3 ^v	o-i	6	8-6	Ooo1 ^v -Ooo3 ^r	i-o	1
4-8	Yy2 ^v -Yy4 ^r	o-i		8-8	4B2 ^v -4B3 ^r	o-o	
4-8	Ccc3 ^v -Ccc4 ^v	i-o		8-9	Xx4 ^r -Xx4 ^v	i-o	1
4-8	Hhh3 ^v -Hhh4 ^v	i-o		9-4	Cc3 ^r -Cc4 ^r	o-i	3
4-8	Sss3 ^r -Sss3 ^v	o-i		9-4	Kkk1 ^v -Kkk2 ^v	i-o	
4-9	Ll3 ^r -Ll3 ^v	o-i		9-4	4E2 ^v -4E3 ^v	o-i	
4-9	Mmm1 ^v -Mmm4 ^v	i-o	3	9-5	Kk3 ^v -Kk4 ^v	i-o	1
4-9	Xxx2 ^v -Xxx4 ^r	o-i		9-6	Eee1 ^v -Eee4 ^v	i-o	3
5-4	Ii2 ^v -Ii4 ^r	o-i		1	9-6	Fff1 ^v -Fff4 ^v	
6-4	Pp2 ^v -Pp4 ^r	o-i	3	9-6	4C3 ^v -4C4 ^v	i-o	4
6-4	Ddd3 ^r -Ddd4 ^r	o-i		9-8	Z3 ^v -Z4 ^v	i-o	
6-4	Yyy3 ^r -Yyy4 ^r	o-i		9-8	Ff3 ^v -Ff4 ^v	i-o	
6-8	Zz2 ^v -Zz3 ^v	o-i	9-8	Tt3 ^v -Tt4 ^v	i-o		
6-8	Lll1 ^v -Lll3 ^r	i-o	3	9-8	4D3 ^r -4D3 ^v	o-i	49
6-8	Uuu3 ^v -Uuu4 ^v	i-o					
6-9	Gg4 ^r -Gg4 ^v	i-o	1				

表13 『国富論』初版第2巻印刷用紙表版、裏版の組み合わせ

outer (o) /inner (i) forme	signature	press figure	30	i-o	Ooo1 ^v -Ooo3 ^r	8-6	18
				i-o	Ppp1 ^v -Ppp2 ^v	4-6	
i-o	C1 ^v -C4 ^v	4-7		i-o	Rrr3 ^v -Rrr4 ^v	8-4	
i-o	D1 ^v -D4 ^v	4-7		i-o	Ttt1 ^v -Ttt4 ^v	8-4	
i-o	Y1 ^v -Y3 ^r	8-1		i-o	Uuu3 ^v -Uuu4 ^v	6-8	
i-o	Z3 ^v -Z4 ^v	9-8		i-o	4C3 ^v -4C4 ^v	9-6	
i-o	Dd1 ^v -Dd2 ^v	8-4		o-i	Aa3 ^r -Aa3 ^v	4-8	
i-o	Ff3 ^v -Ff4 ^v	9-8		o-i	Cc3 ^r -Cc4 ^r	9-4	
i-o	Gg4 ^r -Gg4 ^v	6-9		o-i	Ee2 ^v -Ee3 ^v	4-8	
i-o	Kk3 ^v -Kk4 ^v	9-5		o-i	Hh2 ^v -Hh3 ^v	8-4	
i-o	Nn3 ^v -Nn4 ^v	8-6		o-i	Ii2 ^v -Ii4 ^r	5-4	
i-o	Rr3 ^v -Rr4 ^v	8-4		o-i	Ll3 ^r -Ll3 ^v	4-9	
i-o	Ss1 ^v -Ss2 ^v	7-8		o-i	Pp2 ^v -Pp4 ^r	6-4	
i-o	Tt3 ^v -Tt4 ^v	9-8		o-i	Yy2 ^v -Yy4 ^r	4-8	
i-o	Uu3 ^v -Uu4 ^v	7-8		o-i	Zz2 ^v -Zz3 ^v	6-8	
i-o	Xx4 ^r -Xx4 ^v	8-9		o-i	Bbb3 ^r -Bbb4 ^r	4-6	
i-o	Aaa3 ^v -Aaa4 ^v	4-6		o-i	Ddd3 ^r -Ddd4 ^r	6-4	
i-o	Ccc3 ^v -Ccc4 ^v	4-8		o-i	Ggg2 ^v -Ggg3 ^v	7-4	
i-o	Eee1 ^v -Eee4 ^v	9-6		o-i	Sss3 ^r -Sss3 ^v	4-8	
i-o	Fff1 ^v -Fff4 ^v	9-6		o-i	Xxx2 ^v -Xxx4 ^r	4-9	
i-o	Hhh3 ^v -Hhh4 ^v	4-8		o-i	Yyy3 ^r -Yyy4 ^r	6-4	
i-o	Iii1 ^v -Iii4 ^v	4-6		o-i	4A3 ^r -4A3 ^v	7-9	
i-o	Kkk1 ^v -Kkk2 ^v	9-4		o-i	4D3 ^r -4D3 ^v	9-8	
i-o	Lll1 ^v -Lll3 ^r	6-8		o-i	4E2 ^v -4E3 ^v	9-4	
i-o	Mmm1 ^v -Mmm4 ^v	4-9		o-o	4B2 ^v -4B3 ^r	8-8	
i-o	Nnn1 ^v -Nnn3 ^r	4-7				1	
						49	

表14 『国富論』初版第2巻351頁、469頁の印刷機（者）番号

	Yushodo 版	Klassiker 版	Idion 版	経済学部分館 所蔵本①②	経済学部分館 所蔵本③
p.351	8	なし	なし	なし	8
p.469	6	6	6	6	6

5 『国富論』初版の校合

(1) 『国富論』初版ロンドン版とエディンバラ版のハーフタイトル

『国富論』初版の校合に入る前に、『国富論』初版に関する先人たちの記述を確認しよう。

まず、マッセイ（Dudley Massey）は1940年、エディンバラ版と、ラウ

ンズ (William Thomas Lowndes) がその『書誌の手引き (*Bibliographer's Manual*)』の中で取り上げているロクスバラ (Roxburghe) 本、9331番 (Lowndes, p.2417) とに関して次のように述べている。「最近、ミューアヘッド (Muirhead) の販売会に、第2巻だけにというのではなく、両巻にハーフタイトルを持ったアダム・スミスの『国富論』1776年版が登場したことは、本書に関する問題に光を投げかけるであろう」。「ミューアヘッド本第1巻のハーフタイトルの説明は簡単である。それは、スコットランド市場向けの版の1つであり、エディンバラの書籍商 W. クリーチの名前がタイトルの出版者 (imprint) に加えられたものであった。これは、クリーチの名前のない元のタイトルを削除し、この1葉を、ハーフタイトルとクリーチの名前を冠したタイトルの2葉で差し替えることによって行われた」。「クリーチの名前がなく、ハーフタイトルを持たないロンドン版は、このエディンバラ版よりも前のものであることが、折記号を校合することで証明される」。「ミューアヘッド本の第2巻は、差し替えられたハーフタイトルと、エディンバラの書籍商の名前のあるタイトルページを持っている。ロンドン版とエディンバラ版両方の第2巻の校合は同じである」。マッセイは、折記号による校合の結果、「ロクスバラ本はエディンバラ版の1つであるという可能性が高く、〔刊行〕年が1777年とされるものは存在しないと思われる」と結論付けている (Massey, p.356)⁽¹⁵⁾。ロクスバラ本がどのようなものなのか判然としないが、マッセイはエディンバラ版が両巻ともにハーフタイトルを持っていることを明らかにしている。

ゴフ (Frederick Richmond Goff, 1916-1982) は1947年に、『国富論』初版の第2巻にハーフタイトルがあるものとないものが存在することを指摘している (Goff, p.11)。この指摘の後、1948年にグリーンヒル (Harold Greenhill) とアダムズ・ジュニア (Frederick B. Adams, Jr.) との間でやり取りがある。グリーンヒルは「第2巻にはハーフタイトルが常に存在するのか。第1巻には、どのような状況において (あるとすれば)、ハーフタイトルが現れるのか」と2つの問題を提起した (Greenhill,

p.193)。これに対してアダムズ・ジュニアは、「当時のエディンバラ版には、両巻ともにハーフタイトルが付けられている」と回答している (Adams, Jr. p. 195)。

『国富論』初版復刻版、そして経済学部分館所蔵本でハーフタイトルの有無を確認したものが表15である。これにより、マッセイ、ゴフ、アダムズ・ジュニアらの指摘が正しいことが確認できる。ただし、ロンドン版に関してハーフタイトルを持つ第2巻、持たない第2巻がどれだけの部数が存在しているのか、またエディンバラ版に関して、両巻とも常にハーフタイトルを持っているのかは不明である。

表15 『国富論』初版第1巻、第2巻ハーフタイトルの有無

	Yushodo 版	Kelley 版	Klassiker 版	Idion 版	経済学部分館 所蔵本①②	経済学部分館所蔵本③ (エディンバラ版)
第1巻	なし	なし	なし	なし	なし	あり
第2巻	あり	あり	なし	なし	あり	あり

(2) 『国富論』初版の校合

トッドは、7つの機関に所蔵されている『国富論』初版やそれ以降の版を合計49点に関して、調査している。トッドは、『国富論』初版は、「オリジナル原稿 (original manuscript) に極めて忠実に印刷されている」、そのため「偶発物 (accidentals)」、すなわち「綴りや句読点に著者のいくつかの特殊性 (idiosyncracies) が保存されている」。「この版は、著者自身の原稿 (author's original script) から直接印刷されたのではなく、他のスミス作品と同様に、写字生⁽¹⁶⁾が作成した複写原稿 (copy) から印刷されたため、その特異性 (peculiarities) の一部は、別人の書法 (hand) に起因する可能性がある」と述べている (Todd, pp.61-62)。

トッドの指摘を参考にしつつ、『国富論』初版復刻版を使用した校合の結果を示したのが表16である。

表16 『国富論』初版校合結果

Vol.1. page. line. (from bottom)	Yushodo	Kelley	Klassiker	Idion
[1]. Introduction	WORK・	idem	idem	idem
2. 11	^l abour	idem	idem	idem
3. 10 f.b.	encouragemen _t	idem	idem	idem
5. cw	workmen'	idem	idem	idem
13. 14	he	idem	idem	idem
49. 3 f.b.	10d. $\frac{1}{2}$	10d. $\frac{1}{2}$	10d. $\frac{1}{2}$	10d. $\frac{1}{2}$
51. page no.	51	52?	51	51
51. 10 f.b.	coin・	idem	idem	idem
87. 12	employment,	employment;	employment,	employment;
123. 6	of	idem	idem	idem
123. 7	stat _e	idem	idem	idem
135.8 f.b. ⁽¹⁾	diffe- -区切り	idem	idem	idem
145. 13 f.b.	s _o me	idem	idem	idem
170. 5. f.b.	of	idem	idem	idem
229. 5. f.b.	an d	an d	an d	and
235. 8-9 ⁽²⁾	ob-seived	idem	idem	idem
257. 12-13 f.b.	plen _t iful	idem	idem	idem
290. 13 f.b.	other	idem	idem	idem
293. 14 f.b.	smal]	idem	idem	idem
304. 1 f.b.	price	p _r ice	price	price
312 title ⁽³⁾	CONCLUSION <i>of the</i> CHAPTER	idem	idem	idem
319 Average Price,	$9\frac{1}{3}$	$9\frac{1}{3}$	$9\frac{1}{3}$	$9\frac{1}{3}$
338. 5 f.b. ⁽⁴⁾	wool,	idem	idem	idem
338. cw	for.	for	for.	for.
348. 4 f.b.	piece _s	idem	idem	idem
365. 7 f.b.	of	idem	idem	idem
369. 9 f.b.	all	idem	idem	idem
369. 4-3 f.b. ⁽⁵⁾	re-pay-ments	idem	idem	idem
375. 9-10	to night	to-night	to-night	to-night
376. cw	ad- vanced	idem	idem	idem

381. 16 ⁽⁶⁾	them _✓	them_	them,	them _✓
384. 9	privat _e	idem	idem	idem
388. 6	demands _,	demands,	demands,	demands _,
416. 12 -11 f.b.	main- ^t ained	idem	idem	idem
416. 11 f.b.	may	idem	idem	idem
442. 5-4 f.b.	manu- _f actures	manu- _f actures	manu- _f actures	manu- _f actures
444. 6 f.b. ⁽⁷⁾	capitals	idem	idem	idem
445. 4 f.b.	fo _r	idem	idem	idem
453. 7 f.b.	its	idem	idem	idem
462. 10 f.b.	i _s	idem	idem	idem
467. 3 f.b.	_t here	idem	idem	idem
468. 1 f.b.	of	idem	idem	idem
470. 3-4 f.b.	pro- _p rietors	idem	idem	idem
470. 2 f.b.	_t he	idem	idem	idem
471. 4	^t han	idem	idem	idem
474. 3 f.b.	tenants	idem	idem	idem
474. cw	bailiff _s	bailiffs	bailiffs	bailiff _s
501. 4 f.b.	f _r om	idem	idem	idem
502. 2 f.b.	e _i ther	idem	idem	idem
503. 13 f.b. ⁽⁸⁾	severa _l	idem	idem	idem
505. 2	s _m all	idem	idem	idem
Vol.2. page. line.	Yushodo	Kelley	Klassiker	Idion
6. 9 f.b.	_t herefore	idem	idem	idem
7. 2	augmen ^t	idem	idem	idem
7. 10 f.b.	^t herefore	idem	idem	idem
8. 11	^t he	idem	idem	idem
10. 6 f.b.	tea _s	idem	idem	idem
10. 5 f.b.	because	idem	idem	idem
13. 14 f.b.	them.	them	them.	them.
14. 10	^t he	idem	idem	idem
15. 12 f.b.	^t he	idem	idem	idem
24. 9-10	manu- _f acture	idem	idem	idem
37. 5 f.b.	f _o llow	idem	idem	idem
37. 3 f.b.	^t he	idem	idem	idem
38. 6 f.b.	countrie _s	idem	idem	idem

42. 11	fo	so	fo	so
43. 8	<i>studi_o</i>	idem	idem	idem
43. 10	merchant ^s	idem	idem	idem
44. 13-12 f.b.	im- _p ortation	idem	idem	idem
46. 3 f.b.	shar _e	idem	idem	idem
61. 8 f.b.	_t heir	idem	idem	idem
67. 1	silve _r	idem	idem	idem
68. cw	granted'	idem	idem	idem
85. 2 f.b.	_i ts	idem	idem	idem
90. 3-2 f.b.	mercan- ^t ile	mercan-tile	mercan- ^t ile	mercan-tile
106. 16 f.b.	o _f	idem	idem	idem
107. 13	_l iberal	idem	idem	idem
116. 12	_i s	idem	idem	idem
119. 15	_t heir	idem	idem	idem
131. 15 f.b.	goods'	idem	idem	idem
135. 5 f.b.	nation'	idem	idem	idem
141. 15 ⁽⁹⁾	Charles II	Charles II.	Charles II	Charles II.
143. 6	_i n	idem	idem	idem
144. 2	_t he	idem	idem	idem
159. 13-12 f.b.	Ephe- _s us	idem	idem	idem
161. 15-14 f.b.	pre-tended	idem	idem	idem
163. 6	therefore'	idem	idem	idem
165. 6	_s muggling	idem	idem	idem
166. 8	it _s	idem	idem	idem
167. 16-17	co ₇ onies	idem	idem	idem
181. 2 ⁽¹⁰⁾	penalties.	penalties.	penalties.	penalties.
186. 2	_i s	idem	idem	idem
186. 5	^t he	idem	idem	idem
190. 10 f.b. ⁽¹¹⁾	dominion	dominion	dominion	dominion
197. 6	it'	idem	idem	idem
198. 8	_i ncreased	idem	idem	idem
198. 11	whol ^e	idem	idem	idem
198. 12	he _r	idem	idem	idem
201. 7	_i ^t	idem	idem	idem
201. 7-8	lessen- _i ng	idem	idem	idem
204. 4-5	thou- _s and	idem	idem	idem
204. 13	second	idem	idem	idem

206. 2 f.b.	^t hem	idem	idem	idem
211. 3	disorder _s	idem	idem	idem
217. 1 f.b.	^t imes	times	times	^t imes
221. 2	hurtful	idem	idem	idem
223. 4	of	idem	idem	idem
223. 10	^t heir	^t heir	^t heir	^t heir
223. 13	out,	idem	idem	idem
230. 2 ⁽¹²⁾	Great Britain	idem	idem	idem
230. 2	of	idem	idem	idem
230. 4	ha ^s	idem	idem	idem
232. 11	w ^e	idem	idem	idem
241. 9 f.b.	Bu	idem	idem	idem
242. 9 f.b.	fo ^r	idem	idem	idem
253. 12	master _s	idem	idem	idem
254. 3 f.b.	rea ^l	idem	idem	idem
256. titel 3	<i>Country.</i>	<i>Countr y.</i>	<i>Country.</i>	<i>Country.</i>
257. 10 f.b.	th ^e	idem	idem	idem
257. 7 f.b.	th ^e	idem	idem	idem
257. 4 f.b.	Thi _s	idem	idem	idem
259. 13. f.b.	unles ^s	idem	idem	idem
273. 14 f.b.	servant ^s	idem	idem	idem
280. 14 f.b.	th ^e	idem	idem	idem
280. 11 f.b.	^t he	idem	idem	idem
280. 9 f.b.	China,	idem	idem	idem
281. 3 f.b.	sea;	idem	idem	idem
282. 12	o ^f	idem	idem	idem
285. 3 f.b.	a ^t	idem	idem	idem
289. 2 f.b.	wil ^l	idem	idem	idem
296. 14-15 ⁽¹³⁾	veryintri-cate	idem	idem	idem
1298. 9 f.b.	m chanical	mechanical	mechanical	mechanical
299. cw	take ^s	idem	idem	idem
303. 13 f.b.	i _s	idem	idem	idem
303. 12 f.b.	^t he	idem	idem	idem
304. 11	i ⁿ	idem	idem	idem
312. 1	s ^o	idem	idem	idem
313. 2-3	supe- ^t ior	idem	idem	idem
314. 5	suffer _s	idem	idem	idem

314. 14 f.b.	thei ^r	idem	idem	idem
316. 7	a ⁿ d	idem	idem	idem
316. 4 f.b.	greate ^r	idem	idem	idem
320. 3	thing _s	idem	idem	idem
321. note	H.story	H.story	H:story	H story
322. 6	injustice'	idem	idem	idem
324. 4	o ^f	idem	idem	idem
324. 7	t ^h e	idem	idem	idem
325. 5-4 f.b.	par- liaments	idem	idem	idem
325. 2-1 f.b.	coun- s ellor	idem	idem	idem
328. 4 f.b.	l ^e issure	idem	idem	idem
329. 10 f.b.	i ⁿ dependent	idem	idem	idem
329. cw	nature,	idem	idem	idem
331. 12	por ^t	idem	idem	idem
332. 9 f.b.	c ^a nnot	idem	idem	idem
332. 8 f.b.	countr ^y	idem	idem	idem
332. 7 f.b.	lor ^d	idem	idem	idem
333. 13 f.b.	pu ^t	idem	idem	idem
340. 8 f.b. ⁽¹⁴⁾	Corvées	Corvees	Corvées	Corvées
345. 14	foundation ^s	idem	idem	idem
349. 4 f.b.	o ^f	idem	idem	idem
351. 12	othe ^r	idem	idem	idem
354. 3 f.b.	man'	idem	idem	idem
355. 3-2 f.b.	intro duced	intro-duced	intro-duced	intro-duced
365. cw	of.	of,	of.	of..
367. 4	t ^a kes	idem	idem	idem
371. 12 f.b t	i ^t	idem	idem	idem
372. 15	littl ^e	idem	idem	idem
377. head note	CHAP. ¹	CHAP.	CHAP. ¹	CHAP.
378. 14 f.b.	composition'	idem	idem	idem
378. 13 f.b.	thei ^r	idem	idem	idem
378. 1 f.b.(cw)- 379. 1 ⁽¹⁵⁾	league "itself league itself	idem	idem	idem
381. 11 f.b.	t ^h e	idem	idem	idem
382. 17	abhorrenc ^e	idem	idem	idem
384. 2	t ^h e	idem	idem	idem
384. 2 f.b.	t ^e achers	idem	idem	idem

387. 1	i _s	idem	idem	idem
401. 3	i _n feriors	inferiors	inferiors	inferiors
404. 4	think'	idem	idem	idem
408. 1 f.b. (cw)- 409. 1 ⁽¹⁶⁾	may be may to	idem	idem	idem
412. 10	f _r om	idem	idem	idem
416. note	S _e ee	S _e ee	See	See
427. 6	t _h e	idem	idem	idem
432. 15	no ^t	idem	idem	idem
434. 16	i _t	idem	idem	idem
438. 3	upon'	.upon'	upon'	upon'
439. 4 f.b.	l _a nd-tax	l _a nd-tax	l _a nd-tax	land-tax
441. 12 f.b. ⁽¹⁷⁾	A TAX	idem	idem	idem
441. 3 f.b.	t _o	idem	idem	idem
442. 9 f.b.	i _n	idem	idem	idem
450. note *	con c ernant	idem	idem	idem
454. 8	e _m ployment	idem	idem	idem
455. 14 f.b.	s _o urce	idem	idem	idem
455. 7 f.b.	e _x treme	idem	idem	idem
456. 5-6	accord- i _n gly	idem	idem	idem
458. 5	dence * .	dence *	dence * .	dence * .
458. 5 f.b.	i _n	idem	idem	idem
459. 8 ⁽¹⁸⁾	THEtaxupon	idem	idem	idem
459. 8.	tho'	tho'	tho'	tho
460. 1	suppor _t	idem	idem	idem
460. 3 f.b.	littl _e	idem	idem	idem
461. 2	it'	idem	idem	idem
463. 15-14 f.b.	mis- i _n formation	idem	idem	idem
464. 9	reimburs _e	idem	idem	idem
467. 6 f.b. ⁽¹⁹⁾	immoveable	im moveable	■moveable	■moveable
468. 12 f.b.	fi _v e	idem	idem	idem
468. note †	Vectigalibus	Vect galibus	Vectigalibus	Vectigalibus
469. 3 f.b.	c _o nsent	idem	idem	idem
470. 7	take ^s	idem	idem	idem
470. 3 f.b.	e _x cetp	idem	idem	idem
471. 14 f.b.	t _{wo}	idem	idem	idem
474. 5	o _f	idem	idem	idem

474. 6	th ^e	idem	idem	idem
475. 8	THE	idem	idem	idem
477. 12 f.b.	^t he	idem	idem	idem
481. 11	^t heir	idem	idem	idem
482. 1	thi _s	thi _s	this	this
482. 7	_t aille	idem	idem	idem
488. 4 ⁽¹⁹⁾			& 4 d. handwriting	and four pence handwriting
490. 13 f.b.	b ^e	idem	idem	idem
493. 3	withou _t	idem	idem	idem
499. 5	^v alue	idem	idem	idem
499. 9	article ^a	idem	idem	idem
501. 10 f.b.	particular _r	idem	idem	idem
501. 7 f.b.	o _f	idem	idem	idem
502. 13	i _t	idem	idem	idem
502. 16	a ⁿ d	idem	idem	idem
502. 12. f.b.	afterward ^s	idem	idem	idem
502. 9 f.b.	considerable	idem	idem	idem
502. 8 f.b.	^e xportation	idem	idem	idem
502. 6 f.b.	b _e fore	idem	idem	idem
503. 4	^c omprehended	idem	idem	idem
503. 6	l _i fe	idem	idem	idem
503. 8	i _n	idem	idem	idem
503. 13 f.b.	i _m portation	idem	idem	idem
504. 10	i ⁿ troduction	idem	idem	idem
504. 5-4 f.b. ⁽²⁰⁾	con __ sumption	idem	idem	idem
505. 16 f.b.	^t hose	idem	idem	idem
505 10 f.b.	^t he	idem	idem	idem
510. 3 f.b.	th ^e	th _e	th _e	th ^e
510. 2 f.b.	valu _e	idem	idem	idem
510. 1 f.b.	superio ^r	superio ^r	superior	superio ^r
511.7	o ^f	idem	idem	idem
511. 8	th ^e	idem	idem	idem
511.9	th ^e	idem	idem	idem
511. 11 f.b.	foundation [.]	idem	idem	idem
511. 9 f.b.	tha _t	idem	idem	idem
511. 8 f.b.	i _t	idem	idem	idem

511. 7 f.b.	th ^e	idem	idem	idem
511. 6 f.b.	th ^e	idem	idem	idem
515. 1 f.b.	Sound·	Sound·	Sound·	Sound·
517. 3	i s	idem	idem	idem
520. 4	i ts	idem	idem	idem
520. cw	gl er,	idem	idem	idem
522. 16 ⁽²¹⁾	. *	idem	idem	idem
527. 6 f.b.	but	but	but	but
527. 5 f.b.	taxed·	taxed.	taxed.	taxed·
531. 13	th _e	idem	idem	idem
533. 13	furnish	idem	idem	idem
533. 5 f.b.	Bu	idem	idem	idem
537. 8-7 f.b.	neces- ^s arily	idem	idem	idem
544. cw - 545. 1	public, publick,	idem	idem	idem
545. 11-12	in- _t erest	idem	idem	idem
545. 11 f.b.	an y	idem	idem	idem
551. 14	perhap ^s	idem	idem	idem
553. 14	th ^e	idem	idem	idem
553. 10 f.b.	wa _r	idem	idem	idem
553. cw ⁽²²⁾	reduce-ing,	reduce-ing	reduce-ing,	reduce-ing,
554. 6 f.b.	Grea _t	idem	idem	idem
556. 6 f.b.	th _e	idem	idem	idem
557. 6 f.b.	expenc _e	idem	idem	idem
565. 12	computed	idem	idem	idem
565. 13	o _f	idem	idem	idem
565. 14	ounce ^s	idem	idem	idem
565. 11 f.b.	law _s	idem	idem	idem
565. 7 f.b.	t ^o	idem	idem	idem
565. 2 f.b.	th _e	idem	idem	idem
565. 1 f.b.	the	idem	idem	idem
566. 2 f.b.	deb _t	idem	idem	idem
570. 13 f.b.	th _e	idem	idem	idem
571. 15	grea _t	idem	idem	idem
571. 16 f.b.	o _f	idem	idem	idem
573. 10	merchant ^t	idem	idem	idem
573. 15	t _o	idem	idem	idem

575. 13 f.b.	revenu ^e	idem	idem	idem
576. 5	th ^e	idem	idem	idem
576. 6	th _e	idem	idem	idem
577. 12	duties ^s	idem	idem	idem
582. 6	o f	idem	idem	idem
587. 12	i magination	idem	idem	idem
587. 9 f.b.	th ^e	idem	idem	idem

凡例 1 列目は、各巻頁数、行数を表している。下から数えた場合の行数は、f.b. (from bottom) で示している。cw はつなぎ語を表している。校合結果が雄松堂版と同じである場合は、idem とした。

注

- (1) ハイフンの使用場所が不適切である。137頁14行は、dif-fence で区切られている。
- (2) ob-served ではなく、ob-seved となっている。
- (3) 斜字体と立体が混ざっている。
- (4) 最後の l が手書きに見える。
- (5) 他に re-pay とされている箇所はない。あえてハイフンを入れることで、文字間を調節したのかもしれない。
- (6) カンマ (,) が手書きに見える。
- (7) capitals ではなく、capitals となっている。
- (8) 最後の l が手書きに見える。
- (9) 国王名の序数表記が不統一である。
- (10) Yushodo 版と Klassier 版は、行頭が半角分下がっている（空いている）。
- (11) dominion の d について、Yushodo 版は文字の大きさが他よりも小さい。
- (12) Great のあとに縦線が入っている。
- (13) 本来であれば very と intiri の間が半角分空いていなければならない。
- (14) 綴り字記号（アクサン・テギュ）が手書きに見える。é
- (15) つなぎ語に“は不要である。
- (16) may の次は be（つなぎ語）でなければならないのに、本文では“may to”とされている。
- (17) 改行時には、A tax とならなければならない。T が大きい。
- (18) The tax upon とされなければならない。
- (19) 購入者が手書きしているものとしていないものがある。
- (20) ハイフンとすべきところでアンダーバーが用いられている。
- (21) 注記は、* . としなければならない（本来であればピリオドの前に注記記号は来なければならない）。
- (22) 現在分詞であれば redu-cing とし、その後のカンマ (,) の位置を変える。

この表16から、校正が十分行われていなかったことが分かる。例えば、第1巻の [1] 頁、“INTRODUCTION AND PLAN OF THE WORK”の最後が、ピリオド (.) ではなく中点 (・) になっている。2 頁では、“labour”の“l”が“abour”の行よりも上に上がり、3 頁では、“encouragement”の“t”が“encouragemen”の行よりも下に下がっていて、行頭、行末でアルファベットの不揃いがあることが分かる (図10参照)。

図10 綴りや句読点の乱れ、不揃いの例 (Vol. p.[1], p.2, p.3)

INTRODUCTION AND PLAN OF THE WORK.
labour, encouragement

またトッドも指摘しているように (ancient / antient, public / publick, complete / compleat, cloth / cloath, desert / desart, extremely / extreamly, household / houshold, independent / independant, entirely / intirely, precede / preceed, promissory / promissary, statutory / statuary, Todd, p.65. トッド、p.7)、綴りの不統一も見られる⁽¹⁷⁾。トッドが挙げたもの以外にも、綴りや記号などの不統一の例はある。

表記上の乱れ、不統一の例には次のものがある。

国王名の表記 (序数)

Vol.1 p.109. line 4-3 f.b.

The statute of Henry VIII was revived by the 13th of Elizabeth cap. 8, and ten per cent. continued to be the legal rate of interest till the 21st of James I. when it was restricted to eight per cent.

ヘンリー 8 世は VIII. ではなく、VIII とされ、ジェームズ 1 世は I. と序数で表されている。

綴り

sett/ set

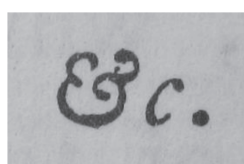
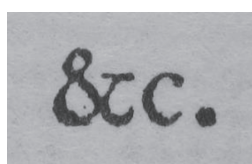
Vol.1. p.161. line 11-10 f.b. “A particular sett of workmen.”

p.404. line 7. “one set of unproductive labour.”

記号

第1巻 p.61. line 5 f.b.

第1巻 p.64. line 5 f.b.



人名・地名など

Montesquieu / Montesquiou

Vol.1. p.118. 15

Vol.1. p.430. 3 f.b.

Cromwel / Cromwell

Vol.2. p.199. 14

Vol.2. p.311.9

Pensylvania / Pensilvania

Vol.1. p.396. 16 f.b.

Vol.2. p.169. 2

Cæsar (合字) / Cesar

Vol.1. p.228. 1

Vol.2. p.311. 8

Queen Anne / Queen Ann

Vol.1. p.110. 2

Vol.2. p.402. 14

oeconomy / œconomy (合字)

Vol.2. p.[1]

Vol.2. p.[1]

さらに誤植と思われるものをまとめたのが表17である⁽¹⁸⁾。

表17 『国富論』初版における誤植

Vol.1 p.49 3 f.b.	 <p>Yushodo 版（左側）のみ分母の 2 が上下逆転している。Yushodo 版を除く他の復刻版では訂正されている（右側）。</p>
Vol.1 p.235 8-9	 <p>r が I になっている。</p>
Vol.1 p.312 title	 <p>章題等はすべて斜字体とすべきところが、立体が混ざっている。</p>
Vol.2 p.256	 <p>Kelley 版（左側）は r と y の間が空いている。Kelley 版を除く復刻版では訂正されている（右側）。</p>
Vol.2. p.289 [i.e. 288]	Kelley 版を除いて頁番号に誤植がある ⁽¹⁹⁾ 。
Vol.2 p.313 2-3	 <p>supe-rrior ではなく supe-tior になっている。</p>
Vol.2 p.408 1 f.b.-p.409 1	 <p>may be であるべきところが本文は may to となっている。 つなぎ語 be が正しい。</p>
Vol.2 p.410. 1	 <p>章題等はすべて斜字体とすべきところが、立体になっている。</p>
Vol.2 p.533. 5 f.b.	 <p>But の t がない。</p>
Vol.2. p.553 cw - p.554.	 <p>reduce-ing, ではなく、redu-cing が正しく、カンマ (,) は不要である。</p>

これらの誤植、綴りの乱れ、不揃いなどは、第1巻と比べて第2巻の方が圧倒的に多い。スミスは第2巻の冒頭で、467頁と488頁に訂正があることを記している。この2箇所の訂正は、本文印刷中であれば正しく印刷した用紙の差し替えで対応できたであろうが、ここでは差し替えが行われなかった。本文印刷中に誤りや綴りの乱れがあれば修正が行われた。しかし、些細な誤りは見逃されたのか、敢えて見逃したと思われる。校正漏れは、スミス、写字生、印刷工（職工）のうち誰かの責任である。

最後に目次に示された章題と本文に示された章題の主な相違を挙げる。

表18 『国富論』初版における章題の相違

第1巻目次	第1巻本文
BOOK I.	
Ch.8. <i>Of the Wages of Labour</i> 76*	Ch.8 <i>Of the Wages of Labour.</i> 78
Ch.10. Part 1st. <i>Inequalities in Wages and Profit arising from the Nature of the different Employments of both</i>	Ch.10. Part I. <i>Inequalities arising from the Nature of the different Employments themselves.</i>
Ch.11. Part 2d. <i>Of the Produce of Land which sometimes does, and sometimes does not, afford Rent</i>	Ch.11. Part II. ...
Ch.11. Part 3d. <i>Of the Variations in the Proportion between the respective Values of that Sort of Produce which always affords Rent, and of that which sometimes does, and sometimes does not afford Rent</i>	Ch.11. Part III. <i>Of the Variations in the Proportion between the respective Values of that Sort of Produce which always affords Rent, and of that which sometimes does and sometimes does not afford Rent.</i>
<i>Different Effects of the Progress of Improvement upon the real Price of three different sorts of rude Produce</i>	<i>Different Effects of the Progress of Improvement upon three different sorts of rude Produce.</i>
<i>Conclusion of the Chapter</i>	CONCLUSION of the CHAPTER
第2巻目次	第2巻本文
BOOK IV.	
Ch.1 <i>Of the Principle of the Commercial or Mercantile System</i>	Ch.1 <i>Of the Principle of the commercial, or mercantile System.</i>
Ch.5 <i>Digression concerning the Corn Trade and Corn Laws</i> 105	105頁13行と14行の間に記載されるはずであったが、記載は漏れている。

Ch.7. PART I. <i>Of the Motives for establishing new Colonies</i>	Ch.7. PART FIRST. <i>Of the motives for establishing new colonies.</i>
Ch.7. PART II. <i>Causes of the Prosperity of new Colonies</i>	Ch.7. PART SECOND. <i>Causes of the prosperity of new colonies.</i>
Ch.7. PART III. ...	Ch.7. PART THIRD. ...
Ch.8. <i>Of the Agricultural Systems, or of those Systems of political Oeconomy which represent the Produce of Land, as either the sole or the principal Source of the Revenue and Wealth of every Country</i>	Ch.8. <i>Of the agricultural Systems, or of those Systems of political Oeconomy which represent the Produce of Land as either the sole or the principal Source of the Revenue and Wealth of every Country.</i>
BOOK V.	
Ch.1. PART I. ...	Ch.1. PART FIRST. ...
Ch.1. PART III. <i>Of the Expence of public Works and public Institutions.</i>	Ch.1. PART III. <i>Of the Expence of publick Works and publick Institutions.</i>
ARTICLE 1st. <i>Of the public Works and Institutions for facilitating the Commerce of the Society</i>	ARTICLE I. <i>Of the publick Works and Institutions for facilitating the Commerce of the Society.</i>
ARTICLE 2d. ...	ARTICLE II.
ARTICLE 3d. ...	ARTICLE III. ...
<i>Conclusion of the Chapter</i>	CONCLUSION.
Ch.2. <i>Of the Source of the general or public Revenue of the Society</i>	Ch.2. <i>Of the Source of the general or publick Revenue of the Society.</i>
ARTICLE 1st. ...	ARTICLE I. ...
ARTICLE 2d. ...	ARTICLE II. ...
APPENDIX TO ARTICLES 1st and 2d. <i>Taxes upon the Capital Value of Land, Houses, and Stock</i>	APPENDIX to ARTICLES I. and II. <i>Taxes upon the capital Value of Land, Houses, and Stock.</i>
ARTICLE 3d. ...	ARTICLE III. ...
Ch. 3. <i>Of public Debts</i>	Ch. 3. <i>Of publick Debts.</i>

* 目次では76頁となっているが、本文では78頁である。

表18から、目次と本文においても表記が統一されていないことが分かる。序数は、数字と接尾語で表現される場合とローマ数字とピリオドで表現される場合が混在している。また名詞や形容詞を表記する場合、頭文字を大文字にする場合と小文字にする場合が混在している。また最も注目すべき点は、章題が変更されていることである。第1編第10章第1節は目次では「両者の異なる職業から生ずる賃金と利潤の不平等」とされていたものが、本文では「異なる職業そのものの性質

から生じる不平等」に変更されている。また、第11章第3節内に配置された「改良の進歩が3つの異なる種類の粗生産物の実質価格におよぼす様々な影響」が本文では「改良の進歩が3つの異なる種類の粗生産物におよぼす様々な影響」に変更（縮小）されている。そして第1編第11章の「本章の結論」と第2編第1章の「本章の結論」は、目次では斜字体であるが、本文では斜字体になっていない。第2編第1章の「本章の結論」は、本文では「結論」に変更され、しかもすべて大文字にされている。『国富論』第2版以降の目次を確認する必要がある。

6 おわりに

以上の調査により次の事柄が判明する。

- 1) 表題紙の出版者にクリーチの名前がない『国富論』初版ロンドン版第1巻にはハーフタイトルはない。第2巻はハーフタイトルがあるものとないものがある。クリーチの名前がある『国富論』初版エディンバラ版は、両巻ともにハーフタイトルがある。
- 2) 『国富論』初版第1巻49頁下から3行目の分数表記(1/2)に関して、Yushodo版は分母の2が上下逆転しているのに、他の復刻版ではそれが訂正されている。Yushodo版は、他の復刻版の異刷である。
- 3) 『国富論』初版第1巻474頁の印刷機(者)番号7の位置から、Yushodo版とKlassiker版は異刷である。さらにIdion版の同頁は7が上下逆転しているのでYushodo版とも異なる。従って、Kelley版を除く3つの復刻版はそれぞれ異刷である。
- 4) 『国富論』初版第2巻280頁の印刷機(者)番号に関して、Idion版だけ6ではなく9になっている。Idion版はこの点からも異刷である。
- 5) 『国富論』初版第2巻256頁の第4編第8章題表記(Country)が異なっているので、Kelley版は、他の復刻版の異刷である。
- 6) 『国富論』初版は、誤りや綴りに乱れや不統一あってもそのまま販売された。印刷中に誤りが見つかった場合には、該当箇所の用紙を

差し替えるか、修正が加えられている（例、第1巻49頁の分数や第2巻256頁）。誤りが見つかったとしても、すでに印刷されていた場合、あるいは誤りが些細な場合には該当箇所の用紙を差し替えることなくそのまま販売されたと思われる。

- 7) 『国富論』初版第1巻折記号2Z3の手書き数字2は、筆跡が異なることから複数の人間（印刷工？）が書き込んでいる。

また、今後の課題として次の疑問点が残されている。

- 1) トッドは「後日の検査で確認したところ、初版で本文が変化しているものはない」(Todd, p.61. note 1) と書いているが、実際に本文に変化はないのか。
- 2) Kelley 版の原典は何なのか。Kelley 版は、他の版と異なり、第1巻 [511] 頁に広告 (BOOKS printed for and sold by T. CADELL, in the Strand) が印刷され、第2巻553頁、563頁を除いて、折記号や巻数表記、印刷機（者）番号が印刷されていない。また頁番号の誤植も他の版と異なっている（注(7)参照）。もし Kelley 版と同じ原典が存在するのであれば、それは異刷となる。Kelley 版巻末見返しには両巻それぞれ「スミス『国富論』原典の初の復刻版 (Facsimile)」とされている。復刻版は何ら変更が加えられることなく刊行されるものと解されるが、Kelley 版は加工されている可能性が非常に高い。Kelley 社は、アメリカ議会図書館 (Library of Congress) の蔵書を復刻していることが多い。議会図書館所蔵の『国富論』初版 (LCCN: 43049501) には、Signatures: v. 1: A⁴, a², B-3T⁴ (3T4 blank) ; v. 2: [A]², B-4E⁴, 4F². とあるので、折記号がついている⁽²⁰⁾。
- 3) 『国富論』初版の用紙差し替えはどのように行われたのか。トッドは、前述したように、原典を示すことなく、折記号を次のように示している（トッド、p.3）。

Vol. i : A⁴ a² B-L⁴ M⁴(±M3) N-P⁴ Q⁴(±Q1) R-T⁴ U⁴(±U3) X-2Y⁴ 2Z⁴(±2Z3) 3A⁴(±3A4) 3B-3N⁴ 3O4(±3O4) 3P-3T⁴.

Vol. ii : $A^2 B-C^4 D^4(\pm D1) E-3Y^4 3Z^4(\pm 3Z4) 4A^4 4B^4(-4B1,2+4B1,2) 4C4(\pm 4C2,3) 4D-4E^4 4F2$.

トッドによれば、第1巻折丁 M、Q、U、2Z、3A、3O、第2巻折丁 D、3Z、4B、4C で、それぞれ6葉の差し替えが行われていることになる（トッド、p.3）。

これに対して、アダムズ・ジュニアは、「本作にはいくつかの差し替え紙（cancel）が含まれているということを述べることは価値がある。私は以下のことに注目した。第1巻では、 M^3 、 Q^1 、 U^3 、 $Zz3$ （誤って折記号が Z^3 と印刷され、手書きで $2Z^3$ に修正）、 $3A^4$ 、 $3O^4$ の用紙。第2巻では D^1 、 Zzz^4 、 $4C^2$ および $4C^3$ （2枚削除）の用紙。オリジナルの差し替え紙が入っているセットは見つけることができなかった」と述べている（Adams Jr. p.195）。日本大学図書館経済学部分館所蔵本①、②、③の折記号では、第1巻折丁 M、Q、U、2Z、3A、第2巻折丁 D、3Z で、差し替えはそれぞれ5葉と2葉となっている。これら差し替えに関する記述に差があるのはなぜか。差し替えは『国富論』初版によって個体差があるのか。個体差があるとするとはどのようなものなのか⁽²¹⁾。これらは原典の調査が不可欠である。

- 4) ストラーンとキャデル2人で出版された『国富論』初版ロンドン版とクリーチを加えた3人で出版された『国富論』初版エディンバラ版（日本大学図書館経済学部分館所蔵本③）には、ハーフタイトル以外にも相違はあるのか。
- 5) ハイデルベルク大学所蔵本を底本とした Idion 社の『国富論』初版は第2巻に目次がついている。第2巻に目次がついた『国富論』初版は他にも存在するのか。
- 6) 『国富論』初版で用いられている印刷機（者）番号に法則性、規則性はあるのか。
- 7) 『国富論』初版の印刷用紙に透かし（Watermark）はあるのか。

今回の調査によって、『国富論』初版にはこれまで知られていなかった

た異刷の存在が明らかになったことは大変重要である。また同時に『国富論』初版が抱える多くの疑問点も顕在化した。これらの疑問点を解くには、復刻版ではなく原典の調査が必要となる。そのためにはまず『国富論』初版を所蔵している国内外の機関を特定する作業を行わなければならない（松田、p.109参照）。特定された後には、本格的な原典調査が待っている。

注

- (1) アダム・スミス旧蔵書コレクション

<https://www.law.nihon-u.ac.jp/library/collection.html>

<https://www.law.nihon-u.ac.jp/library/pdf/NUCLL.pdf>

- (2) 松戸歯学部分館のアダム・スミス旧蔵書は次を見よ。

https://mascatl.lib.nihon-u.ac.jp/opac/opac_details/?reqCode=fromlist&lang=0&amode=11&bibid=1000068061&opkey=B169267985650398&start=1&totalnum=31&listnum=3&place=&list_disp=20&list_sort=0&cmode=0&chk_st=0&check=00000000000000000000

- (3) 異刷については、高野、170頁以下を参照せよ。

- (4) 本稿で校合は、本文やその他に相違がないか照合する作業を指している。

- (5) 『国富論』初版エディンバラ版第1巻のハーフタイトルは、同様に

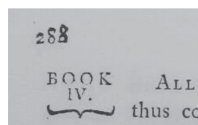
AN | INQUIRY | INTO THE | Nature and Causes | OF THE | WEALTH OF
NATIONS. | VOL. I.

となっている。

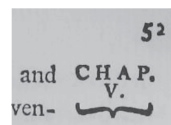
- (6) Cf., Todd, p.61. トッドはこの61頁で示した、差し替えられた用紙の折丁を変更している。

- (7) 『国富論』初版第2巻288頁は誤って289頁とされ頁番号に誤植がある。しかし Kelley 版の同頁番号には誤植はなく正しく288とされている（9が8に加工されているように見える）。また Kelley 版第1巻51頁の頁番号は52に見える（それぞれ次の画像参照）。

Kelley 版第2巻288頁



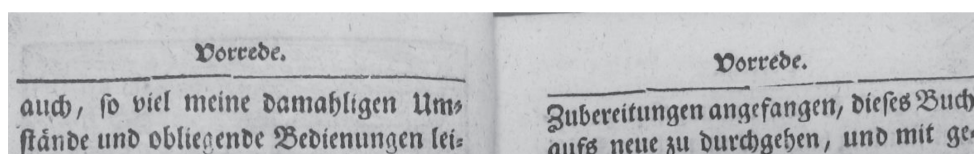
Kelley 版第1巻52 (i.e.51) 頁



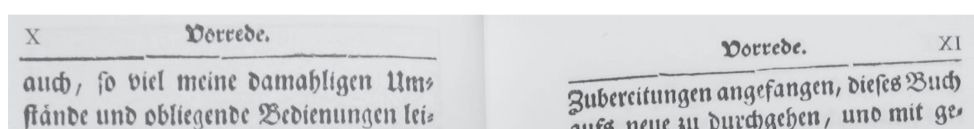
ちなみに Kelley 社によるチャールズ・キング『イギリスの商人』復刻版 (reprint) は、例えば第1巻 xi、xlvi、15頁などにある記号「†」を除いて、原典に記載されているはずの折記号や巻数表記は削除されている。

一方、Scientia 社が、ゼッケンドルフの『ドイツ君主国』の1737年改訂版 (A. S. von Biechling 編) を1972年に復刻している。この復刻版は原典にはなかったハーフタイトルともいえるべきものが2枚付け加えられ、しかもそこでは表題が *Teutscher Fürsten-Staat* から *Deutscher Fürstenstaat* へと変更されている。さらに1737年原典版の序言 (Vorrede) には頁番号は付けられていないが、復刻版にはローマ数字の頁番号が付け加えられている (次の画像参照)。復刻版と言いながら、出版社 (Kelley や Scientia) の都合で、原典への改変 (記号類の削除や追加) が行われているのも事実である。

ゼッケンドルフ『ドイツ君主国』原典序言 (頁番号無し)



ゼッケンドルフ『ドイツ君主国』復刻版序言 (追加された頁番号)



- (8) 『図書新聞』編集部「復刻される『国富論』初版」(『図書新聞』昭和51年10月2日) 参照。
- (9) ハイデルベルク大学図書館所蔵本は
<https://katalog.ub.uni-heidelberg.de/cgi-bin/search.cgi?fsubmit=1&kat1=sg&var1=Leser+100+Folio+RES&op1=AND&kat2=sg&var2=&op2=AND&kat3=au&var3=&sess=c6d7294ec39d3a0361f9cdeb6248511c&bestand=&sprache=GER&art=f>
 で確認することができる。この書誌では第1巻が、[5] Bl., 510 S. 第2巻が、[2] Bl., 587, [1] S. とされており、Idion 版の頁構成とは異なっている。
- (10) Verlagsgruppe Handelsblatt は現在、Handelsblatt Media Group へ改組されているようである。
- (11) 高野、166-170頁参照。
- (12) Yushodo 版の印刷機 (者) 番号は表19の通りとなる。表19からは、第1巻では印刷機 (者) 番号4と7が、第2巻では4と8が使用されているのが多いことが分かる。

表19 Yushodo 版の印刷機（者）番号

Vol.1			
press figure	page	signature	登場回数
4	10	C1 ^v	41
4	52	H2 ^v	
4	92	N2 ^v	
4	100	O2 ^v	
4	111	P4 ^r	
4	124	R2 ^v	
4	150	U3 ^v	
4	154	X1 ^v	
4	162	Y1 ^v	
4	172	Z2 ^v	
4	182	Aa3 ^v	
4	192	Bb4 ^v	
4	196	Cc2 ^v	
4	202	Dd1 ^v	
4	215	Ee4 ^r	
4	220	Ff2 ^v	
4	226	Gg1 ^v	
4	236	Hh2 ^v	
4	242	Ii1 ^v	
4	255	Kk4 ^r	
4	263	Ll4 ^r	
4	270	Mm3 ^v	
4	276	Nn2 ^v	
4	287	Oo4 ^r	
4	293	Pp3 ^r	
4	303	Qq4 ^r	
4	311	Rr4 ^r	
4	362	3A1 ^v	
4	375	3B4 ^r	
4	380	3C2 ^v	
4	390	3D3 ^v	
4	394	3E1 ^v	
4	408	3F4 ^v	
4	416	3G4 ^v	
4	423	3H4 ^r	
4	430	3I3 ^v	
4	438	3K3 ^v	
4	444	3L2 ^v	
4	456	3M4 ^v	
4	476	3P2 ^v	
4	492	3R2 ^v	
5	23	D4 ^r	5
5	32	E4 ^v	
5	37	F3 ^r	
5	46	G3 ^v	
5	60	I2 ^v	
6	472	3O4 ^v	1

7	62	I3 ^v	52
7	66	K1 ^v	
7	78	L3 ^v	
7	84	M2 ^v	
7	95	N4 ^r	
7	102	O3 ^v	
7	112	P4 ^v	
7	116	Q2 ^v	
7	127	R4 ^r	
7	136	S4 ^v	
7	140	T2 ^v	
7	157	X3 ^r	
7	165	Y3 ^r	
7	184	Aa4 ^v	
7	186	Bb1 ^v	
7	194	Cc1 ^v	
7	204	Dd2 ^v	
7	216	Ee4 ^v	
7	222	Ff3 ^v	
7	229	Gg3 ^r	
7	238	Hh3 ^v	
7	248	Ii4 ^v	
7	256	Kk4 ^v	
7	264	Ll4 ^v	
7	272	Mm4 ^v	
7	278	Nn3 ^v	
7	288	Oo4 ^v	
7	294	Pp3 ^v	
7	304	Qq4 ^v	
7	312	Rr4 ^v	
7	314	Ss1 ^v	
7	328	Tt4 ^v	
7	330	Uu1 ^v	
7	343	Xx4 ^r	
7	350	Yy3 ^v	
7	365	3A3 ^r	
7	373	3B3 ^r	
7	397	3E3 ^r	
7	406	3F3 ^v	
7	410	3G1 ^v	
7	420	3H2 ^v	
7	429	3I3 ^r	
7	437	3K3 ^r	
7	442	3L1 ^v	
7	454	3M3 ^v	
7	462	3N3 ^v	
7	468	3O2 ^v	
7	474	3P1 ^v	
7	488	3Q4 ^v	
7	495	3R4 ^r	

7	504	3S4 ^v	5
7	509	3T3 ^r	
8	6	B3 ^v	
8	21	D3 ^r	
8	38	F3 ^v	
8	50	H1 ^v	5
8	114	Q1 ^v	

Vol.2			
press figure	page	signature	登場回数
1	165	Y3 ^r	1
4	7	B4 ^r	31
4	10	C1 ^v	
4	18	D1 ^v	
4	181	Aa3 ^r	
4	199	Cc4 ^r	
4	204	Dd2 ^v	
4	212	Ee2 ^v	
4	238	Hh3 ^v	
4	247	Ii4 ^r	
4	261	Ll3 ^r	
4	295	Pp4 ^r	
4	312	Rr4 ^v	
4	348	Yy2 ^v	
4	366	Aaa3 ^v	
4	373	Bbb3 ^r	
4	382	Ccc3 ^v	
4	391	Ddd4 ^r	
4	414	Ggg3 ^v	
4	422	Hhh3 ^v	
4	426	Iii1 ^v	
4	436	Kkk2 ^v	
4	450	Mmm1 ^v	
4	458	Nnn1 ^v	
4	474	Ppp1 ^v	
4	484	Qqq2 ^v	
4	496	Rrr4 ^v	
4	501	Sss3 ^r	
4	512	Ttt4 ^v	
4	524	Xxx2 ^v	
4	535	Yyy4 ^r	
4	582	4E3 ^v	
5	244	Ii2 ^v	2
5	256	Kk4 ^v	
6	231	Gg4 ^r	
6	269	Mm3 ^r	
6	280	Nn4 ^v	
6	286	Oo3 ^v	2
6	292	Pp2 ^v	

6	300	Qq2 ^v	19
6	356	Zz2 ^v	
6	368	Aaa4 ^v	
6	375	Bbb4 ^r	
6	389	Ddd3 ^r	
6	400	Eee4 ^v	
6	408	Fff4 ^v	
6	432	Iii4 ^v	
6	442	Lll1 ^v	
6	469	Ooo3 ^r	
6	476	Ppp2 ^v	
6	518	Uuu3 ^v	
6	533	Yyy3 ^r	
6	568	4C4 ^v	
7	16	C4 ^v	8
7	24	D4 ^v	
7	28	E2 ^v	
7	314	Ss1 ^v	
7	334	Uu3 ^r	
7	412	Ggg2 ^v	
7	461	Nnn3 ^r	
7	549	4A3 ^r	
8	37	F3 ^r	41
8	54	H3 ^v	
8	62	I3 ^v	
8	70	K3 ^v	
8	78	L3 ^v	
8	88	M4 ^v	
8	96	N4 ^v	
8	102	O3 ^v	
8	110	P3 ^v	
8	116	Q2 ^v	
8	127	R4 ^v	
8	130	S1 ^v	
8	141	T3 ^r	
8	157	X3 ^r	
8	162	Y1 ^v	
8	176	Z4 ^v	
8	182	Aa3 ^v	
8	190	Bb3 ^v	
8	202	Dd1 ^v	
8	214	Ee3 ^v	
8	224	Ff4 ^v	
8	236	Hh2 ^v	
8	278	Nn3 ^v	
8	310	Rr3 ^v	
8	316	Ss2 ^v	
8	328	Tt4 ^v	
8	336	Uu4 ^v	
8	343	Xx4 ^r	
8	351	Yy4 ^r	

8	358	Zz3 ^v	17
8	384	Ccc4 ^v	
8	424	Hhh4 ^v	
8	445	Lll3 ^r	
8	466	Ooo1 ^v	
8	494	Rrr3 ^v	
8	502	Sss3 ^v	
8	506	Ttt1 ^v	
8	520	Uuu4 ^v	
8	556	4B2 ^v	
8	557	4B3 ^r	
8	574	4D3 ^v	
9	174	Z3 ^v	
9	197	Cc3 ^r	
9	222	Ff3 ^v	
9	232	Gg4 ^v	
9	254	Kk3 ^v	
9	262	Ll3 ^v	
9	326	Tt3 ^v	
9	344	Xx4 ^v	
9	394	Eee1 ^v	
9	402	Fff1 ^v	
9	434	Kkk1 ^v	
9	456	Mmm4 ^v	
9	527	Xxx4 ^r	
9	550	4A3 ^v	
9	566	4C3 ^v	
9	573	4D3 ^r	
9	580	4E2 ^v	

(13) 高野、6 頁ほか。

(14) 国内では、東京大学、小樽商科大学、東京経済大学が『国富論』初版の画像を公開している。画像で見るとこれらはロンドン版である。また明治大学所蔵本は書誌が公開されている（雪嶋、2010）。これらの画像と書誌から 4 大学所蔵本の当該頁の印刷機（者）番号とハーフタイトルの有無は表20の通りとなる。*脱稿後、長崎大学も初版画像を公開していることが分かった。

表20 4 大学所蔵本『国富論』初版第 2 巻351頁、469頁の印刷機（者）番号と『国富論』初版第 1 巻、第 2 巻ハーフタイトルの有無

	東京大学 所蔵本	小樽商科大 所蔵本	東京経済 大学所蔵本	明治大学 所蔵本
印刷機（者）番号第 2 巻 p.351	8	なし	なし	なし
印刷機（者）番号第 2 巻 p.469	6	6	6	6
第 1 巻ハーフタイトル	なし	なし	なし	なし
第 2 巻ハーフタイトル	あり	あり	あり	あり

(15) トッドもマッセイに関連して、「明らかに (*Times Literary Supplement*, 1940年 7 月20日の356頁に記載されているように)、出版者が広げられて “W. Creech at Edinburgh” を含んだ差し替え表題を持っているものも数は少ないが存在している」(Todd, p.61. note 3) と述べている。

(16) トッドは、スコットの記述「これは、1819年 3 月付け『スコッツ・マガジン (*Scotts Magazine*)』の死亡通知から明らかになるもので、その中でアレクサンダー・ギリースはアダム・スミス博士の写字生であり、彼の有名な著作『国富論』を彼のために書き写したと述べられている」(Scott, p.360) を基に、写字生をギリース (Alexander Gillies) としている (Todd, p.62. note 4)。

ロス (Ross) も同様に、スコットを原典として、当初は写字生をギリースとしていたが (Ross, 1995, p.245. 訳書、279頁)、その後、「2 人の人物が、『国富論』の最終草稿を準備する際にスミスを手助けしたという名誉を主張した」(Ross, 2010, p.250) とし、ギリースに加えてロバート・リード (Robert Reid. c.1737-?) の名を挙げている。

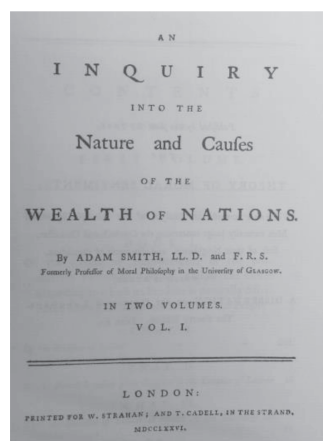
ギリースに関する『スコッツ・マガジン』の記述について、スコットは掲載年月を1819年 3 月としているが、ロスは1818年 3 月としている。いずれが正しいのか、『スコッツ・マガジン』未見の筆者には判定できない。

(17) トッドは、古風な綴りとしては、allege / alledge, awkward / aukward, entrust / intrust, irresistible / irresistibile, mistery / mystery を挙げている。誤った人名表・地名記としては、Meggens, Cromwel, Prrée, Davenant、

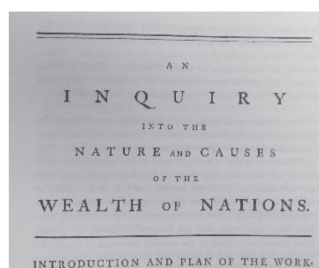
Cornwal、Turky、Postlethwaite、Pensylvania、Oceana、Mathew Decker、Protugueze、Mississippi、Massachusetes、Madrass、Pekin、Thucidides、Steuart を挙げている（トッド、p.7、p.16注（5））

- (18) 校正漏れとするか誤植とするか、その判断に迷うのが『国富論』の表題である。

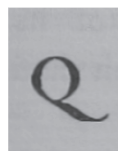
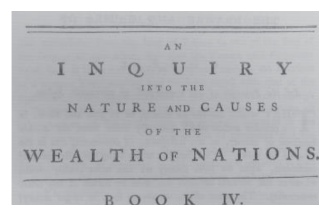
表題紙



第1巻本文1頁



第2巻本文1頁



画像のように、表題では大文字と小文字で“Nature and Causes”とされているのに対して、第1巻本文1頁、第2巻本文1頁では“NATURE AND CAUSES”とすべて大文字にされていて、表題が統一されていない。『国富論』第3版では表題と各巻本文1頁はすべて“NATURE AND CAUSES”とされている。さらに第1巻、第2巻表題の大文字Q、第1巻本文1頁の大文字Qと、第2巻本文1頁の大文字Qは字体が異なっている。

また第2巻56頁の頭注だけが“THE NATURE AND CAUSES OF”ではなく、“THE NATURE AND CAUSES, &c.”とされている。

- (19) Kelley 版の頁番号の誤植（p.52 [i.e.51]）は表に含めていない。
 (20) Cf., <https://catalog.loc.gov/vwebv/holdingsInfo?searchId=2886&recCount=25&recPointer=0&bibId=7862548>
 (21) 高橋は、東北学院大学が所蔵する『国富論』初版の折丁を調査している（高橋、180頁以下）。

参考文献

川又祐「ゼッケンドルフによる『ドイツ君主国』第三版出版の諸相」『法学紀要』57巻、2016年。

https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/bulletin/bulletin_57/each/08.pdf

川又祐 資料「ゾネンフェルスと『ポリツァイ、商業および財政の基本原理解』」『法学紀要』58巻、2017年。

https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/bulletin/bulletin_58/

each/10.pdf

川又祐 資料「ゾネンフェルス『ポリツァイ、商業および財政の基本原則』第一巻の改訂について——第一巻第四版（一七七四年）の発見とあわせて——」『政経研究』56（3）、2019年。

https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/political/political_56_3/each/13.pdf

川又祐「ホップズ『リヴァイアサン』初版 Head 版（1651年）の異刷について」『政経研究』51（1）、2014年。

https://www.publication.law.nihon-u.ac.jp/pdf/political/political_51_1/each/04.pdf

高野彰『洋書の話』第2版、朗文堂、2015年。

高橋秀悦「アダム・スミス・コレクションの性質と書誌に関する一考察」『東北学院大学経済学論集』191号、2019年。

トッド・W.B.「第1章『国富論』の形成——初版から第5版まで——」『刊行200年記念ファクシミリ版アダム・スミス著『国富論』解説 書誌的にみたスミス『国富論』の形成とその国際的伝播』W.B. トッド、K. E. カーペンター、大河内暁男、雄松堂、1976。

編集部「復刻される『国富論』初版」『図書新聞』昭和51年10月2日。

松田博『経済学原典の将来とその受容—スミス『国富論』初版、マルクス『資本論』初版の所蔵状況を中心に—』兵庫ナカバヤシ株式会社、2014年。

雪嶋宏一「18世紀英国の書物の実際」（西洋古版本の手ほどき、2010、No.8）

<http://www.f.waseda.jp/yukis/hpb/hpb2010.8.html>

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. 2 vols. 1776. Facsimile edition. New York. Augustus M. Kelley. 1966. (Kelley 版と略記。)

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. 2 vols. 1776. Facsimile edition. Tokyo. Yushodo. 1976. (Yushodo 版と略記。)

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. 2 vols. 1776. Faksimile-Ausgabe. München. Idion-Verlag. 1976. (Idion 版と略記。)

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. General editors, R.H. Campbell and A.S. Skinner. Textual editor, W.B. Todd. Oxford. Clarendon Press. 2 vols. 1976.

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. 2 vols. 1776. Faksimile-Ausgabe. Klassiker der Nationalökonomie. Düsseldorf. Verlag Wirtschaft und Finanzen. 1986. (Klassiker 版と略記。)

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of*

Nations. 2 vols. 1778. https://books.google.co.jp/books?id=KpWg1DYxRTwC&printsec=frontcover&hl=ja&source=gbs_ge_summary_r&cad=0#v=onepage&q&f=false

https://books.googleusercontent.com/books/content?req=AKW5Qad7rz7582NI3ZVG1zCz_Imx79umFRbe1Z5YmfIIInIZWduxzCrz-RN-Nn9Wzq3KnQ9gPb_Akx_mwnK3XI2JHmSM-VPtgjy3-AyV8xoQA4YUs-uXLGwJoiVwru2KCkfXo7tXddcyXJPJE2-LXLIEJJffjWuBGYOyrOeqYp5uETQZeP8FVJNeampwYVcY6KkuAUluuxLVy3C8fVzYqlIN0KRudw7b9ltpDk3AxMT2k2bKEPbc0PvGTKe3uQBx50BDyXtJ5J2Bxw3dgo1MstiLNjNninvzggUaJy2gl-doBwjnovswZ3I

Smith, Adam, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. 3 vols. 1784. https://books.google.co.jp/books?id=cLhCAQAAMAAJ&printsec=frontcover&hl=ja&source=gbs_ge_summary_r&cad=0#v=onepage&q&f=false

https://books.google.sm/books?id=OB9SAAAACAAJ&printsec=frontcover&hl=ja&source=gbs_ge_summary_r&cad=0#v=onepage&q&f=false

<https://books.google.tg/books?id=SR9SAAAACAAJ&printsec=frontcover&hl=ja#v=onepage&q&f=false>

Adams, Jr, Frederick B. “Answer to Appeal No. 8.” in: *The New Colophon : A Book Collector’s Quarterly*. April 1948. p.195-196.

Goff, Frederick R., Adam Smith’s “Wealth of Nations”. in: *Quarterly Journal of Current Acquisitions*. Vol. 4, No. 2 (FEBRUARY 1947), pp. 11-13.
<https://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=mdp.39015038733799&view=1up&seq=355>

Greenhill, Harold. “Appeal No. 8. Adam Smith’s Wealth of Nations.” in: *The New Colophon : A Book Collector’s Quarterly*. April 1948. p.193.

King, Charles, *The British Merchant; or, Commerce Preserv’d*. 3 vols. London: Printed by John Darby in Bartholomew-Close, 1721. Augustus M. Kelley. Reprinted 1968.

Lowndes, William Thomas, *The Bibliographer’s Manual of English Literature* ... New edition, by Henry G. Bohn. Part IX. London. 1863. Reprint, Tokyo. Hon-No-Tomosha. 1990.

Massey, Dudley, “The Wealth of Nations.” in: *The Limes Literary Supplement*. No.2007. Saturday July 20 1940. p.356.

Ross, Ian Simpson, *The Life of Adam Smith*. First edition. Oxford. Clarendon Press. 1995. 篠原久、只腰親和、松原慶子訳『アダム・スミス伝』シュプリンガー・フェアラーク東京、2000年。

Ross, Ian Simpson, *The Life of Adam Smith*. Second edition. Oxford. Oxford University Press. 2010.

Seckendorff, Veit Ludwig von. *Teutscher Fürsten-Staat ...*, durch Andres Simson von Biechling. Die neueste Auflage. Jena, In der Meyerischen Buchhandlung, 1737. Nachdr. Deutscher Fürstenstaat. Aalen. Scientia Verlag. 1972.

Scott, William Robert, *Adam Smith as Student and Professor*. 1937. New York Augustus M. Kelley. Reprint of Economic Classics. 1965.

Todd, W. B, “The Text and Apparatus.” in: Adam Smith, *An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations*. General editors, R.H. Campbell and A.S. Skinner. Textual editor, W.B. Todd. Oxford. Clarendon Press. 2 vols. 1976. Vol.1, pp.61-66.

東京大学所蔵『国富論』初版

http://ut-elib.sakura.ne.jp/digitalarchive_02/rare/5513437979.pdf

http://ut-elib.sakura.ne.jp/digitalarchive_02/rare/5513437987.pdf

小樽商科大学所蔵『国富論』初版

<https://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/siryo/yosho/pdf/YR040001.pdf>

<https://www.otaru-uc.ac.jp/htosyo1/siryo/yosho/pdf/YR041001.pdf>

東京経済大学所蔵『国富論』初版（ローダデール伯文庫）

<http://hdl.handle.net/11150/4662>

※本稿で示された URL は2023年 9 月 4 日現在のものである。

Bibliographic Study of Adam Smith’s *The Wealth of Nations* (First Edition, 1776).

KAWAMATA Hiroshi

The first edition of Adam Smith’s *The Wealth of Nations* is held by many university libraries in Japan, including Nihon University. In this study, a visual collation using facsimile editions, not original editions, was attempted. The currently available facsimile editions have been published by Kelley, Yushodo, Idion, and Verlag Wirtschaft und Finanzen. As a result of this investigation using the facsimile editions, it was discovered that the first edition of *The Wealth of Nations* had been revised during the printing process, and that there are at least two sorts of states (versions). A comprehensive investigation must be conducted in the future.